

指導事項配列表（1年）NO.1

指導事項配列表（1年①）				【知識及び技能】																		
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項					(2)情報の扱い方に関する事項			(3)我が国の言語文化に関する事項										
				ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	イ	ウ									
月		教材	時数	指導事項等																		
4	言葉に出会うために	朝のリレー	1	◎																		
		野原はうたう 声を届ける/書き留める/ 言葉を調べる/続けてみよう	1 4	◎ ◎								◎										◎
5	1 学びをひらく	シンシユン	4			◎																
		[聞く] 情報を的確に聞き取る	1								◎											
		季節のしおり 春	-																			
		情報整理のレッスン 比較・分類	1									◎										
		情報を整理して書こう わかりやすく説明する	4									◎										
		漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	1		◎ ◎																	
6	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？	2								◎											
		ちょっと立ち止まって	3								◎											
		思考のレッスン1 意見と根拠	1								◎											
		話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	◎																		
		漢字に親しもう2	1		◎																	
		文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう →文法1 言葉の単位 (P238-241)	2						◎													
	情報社会を生きる	情報を集めよう/情報を読み取ろう/ 情報を引用しよう	3								◎											
7	3 言葉に立ち止まる	詩の世界 [書く] 詩を作ろう	3 [1]			◎			◎													
		比喻で広がる言葉の世界	2						◎													
		言葉1 指示する語句と接続する語句	2						◎													
		言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして	1			◎																
	読書生活を豊かに	読書を楽しむ	1																			◎
		本の中の中学生 あと少し、もう少し/西の魔女が死んだ/ ブラインドの向こうに見える光	1																			◎
		読書案内 本の世界を広げよう																				◎
		読書コラム 本との出会い																				◎
		季節のしおり 夏	-																			

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
 ★対応する言語活動例。
 ・学習経験として蓄積させる。

【思考力、判断力、表現力等】													その他		
A 話すこと・聞くこと			B 書くこと				C 読むこと								
(1) 指導事項			(2) 言語活動例		(1) 指導事項		(2) 言語活動例		(1) 指導事項			(2) 言語活動例			
ア	目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。				イ	書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。			ア	文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。			ウ	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動。	
													イ	小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動。	
													ア	説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動。	
													オ	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	
													エ	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	
													ウ	目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。	
													イ	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。	
													ア	文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	
													ウ	詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動。	
													イ	行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。	
													ア	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。	
													オ	根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	
													エ	読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	
													ウ	根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	
													イ	書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。	
													ア	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	
													イ	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	
													ア	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。	
													オ	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	
													エ	必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。	
													ウ	相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	
													イ	自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	
													ア	目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	

指導事項配列表（1年）NO.2

指導事項配列表（1年②）				【知識及び技能】										
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項								
指導事項等				ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	イ 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	オ 比較、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ることに。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。
月		教材	時数											
9	4	大人になれなかった弟たちに……	4											◎
		星の花が降るころに	5				◎							
		聞き上手になろう 質問で話を引き出す 項目を立てて書こう 案内文を書く	1 2	◎						◎				
10	5	[推敲] 読み手の立場に立つ	1			◎								
		言葉2 方言と共通語	2										◎	
		漢字2 漢字の音訓	1		◎									
11	6	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	4						◎					
		思考のレッスン2 原因と結果	1						◎					
		根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 漢字に親しもう3	5 1		◎					◎				
11	6	[話し合い] 話し合いの展開を捉える	1						◎					
		話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	4						◎					
		音読を楽しもう 大阿蘇 季節のしおり 秋	1 -			◎								
12	7	音読を楽しもう いろは歌	1									◎		
		古典の世界										◎		
		蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から 今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って体験文を書こう	4 2 [1]									◎		
12	7	「不便」の価値を見つめ直す [書く] 根拠を明確にして、意見をまとめよう	4 [1]						◎	◎				
		助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	2											◎
		漢字に親しもう4 文法への扉2 言葉の関係を考えよう →文法2 文の組み立て (P242-246)	1 2		◎			◎						
12	読書に親しむ	考える人になろう 君たちはどう生きるか/たのしい制約	1											◎
		読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬	-											

指導事項配列表（1年）NO.3

指導事項配列表（1年③）				【知識及び技能】												
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項					(2)情報の扱い方に関する事項			(3)我が国の言語文化に関する事項				
				ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。					イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。			ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。				
月	教材	時数	指導事項等	オ	エ	ウ	イ	ア	ウ	イ	ア	ウ	イ	ア		
1	少年の日の思い出 [書く] 別の人物の視点から文章を書き換えよう	6 [2]				◎										
	漢字に親しもう5	1			◎											
2	文法への扉3 単語の性質を見つけよう →文法3 単語の分類 (P247-250)	2				◎										
	随筆二編	2				◎										
	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4				◎										
	言葉3 さまざまな表現技法	2							◎							
3	漢字3 漢字の成り立ち	1			◎											
	漢字に親しもう6	1			◎											
	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	5	◎								◎					
振り返り	学習を振り返ろう	3									◎		◎			
巻末教材	文法1 言葉の単位 文法2 文の組み立て 文法3 単語の分類 [練習]小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧								◎							

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	朝のリレー 1時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 詩を通読する。 ・詩に登場する国や街がどんなところか、また、そこで、どんな人が何をしているのか、情景を想像しながら音読する。 2 詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 ・詩を読んで想像した情景や好きな言葉や表現などをグループで交流し、どのように音読すれば、詩のよさが伝わるかを相談する。 3 詩の特徴を生かして音読する。 ・詩のよさが伝わるように工夫して音読する。 ◇グループで分担し、「リレー」形式で読ませてもよい。	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) →速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
言葉に出会うために				
4月	言葉に出会うために 野原はうたう 1時間 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	「言葉に出会うために」を読み、目次や「学習の見通しをもとう」を使って、中学校での国語学習の見通しをもつ。 1 国語で何を学ぶのかを考える。 ・「言葉に出会うために」を読み、国語を学ぶ意味や言葉の価値を考える。 ◇今の考えを書き留めさせ、1年後にこの教材に立ち返ることで自己の変容を感じさせたい。 2 「野原はうたう」の二つの詩を通読する。 ・詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。 ・詩に表現された語句の意味に注意する。 ◇気に入ったところに印をつけたり、線を引かせたりしながら読ませる。 ◇詩人・工藤直子さんの「野原はうたう」に込めた思いを紹介するとよい。 →DVD・二次元コード 3 速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを変えて音読する。 ◇声の強弱や間の取り方などを変えることで、印象が変わることに気づかせる。 4 学習を振り返る。 ・気に入ったところを、どのように音読したかをグループで話し合う。 ・詩を音読するとき、どんな工夫をするとよいか、「音読をするときには」に続く形で書く。	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) →速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 →情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
4月	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう 4時間(話聞②書②) ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりするこ	1-2 3 4	1 音読・発表のしかたを理解する。 ・「声のウォーミングアップ」をする。 ◇聞き手を意識し、速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さに気をつけさせる。 →DVD・二次元コード ・教科書を読み、音読・発表のしかたや日本語の音声の特徴について理解する。 3 ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。 ◇小学校のときのノートの取り方と比較させる。 3 辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。 ・辞典・事典の種類と特徴を確認し、何を調べるときに役立つかを理解する。 4 「言葉の手帳」を作る。 ・印象に残った言葉や気になった言葉を、日付や感想とともに書き留めていくことを確認する。	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) →聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 【知・技】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) →線や矢印で情報を整理している。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>とに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>		<p>・最初の言葉を書き込み、その言葉との出会いや意味、使い方などを書いて、友達と交流する。</p> <p>◇線や矢印を使って類義語や対義語を書かせたり、用例を書かせたりしてもよい。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・相手に伝えるときに、どんなことに気をつけるとよいか、「声のウォーミングアップ」を通して気づいたことをまとめる。</p> <p>・友達とノートの交流をし、工夫できていることと改善点について話し合う。</p>	<p>考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>→これまでに読んだ本などを基に、印象に残った言葉を書き留めている。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>→日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理して「言葉の手帳」に書き込んでいる。</p> <p>【態】進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。</p>
1 学びをひらく				
5月	<p>シンシュン</p> <p>4時間</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	1-2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」でねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読する。</p> <p>・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>2 作品の全体像を捉える。</p> <p>・初読の感想を簡単にまとめる。(学習①-1)</p> <p>・登場人物は誰か、誰が語っているかを確かめる。(学習①-2)</p> <p>・作品を場面に分け、それぞれの内容をおおまかに捉える。(学習①-2)</p> <p>◇「誰が(誰と誰が) どうする(どうなった) 場面」という形で簡単にまとめさせる。</p> <p>3 場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理する。</p> <p>・二人の関係が読み取れる表現を、場面ごとに表にまとめる。(学習②-1)</p> <p>・二人の関係がどう変化していったのかを話し合う。(学習②-2)</p> <p>→P28窓「場面の展開に着目する」</p> <p>→P264窗「文学的な文章を読むために」</p> <p>・「驚いた」などの心情を表す言葉を抜き出す。</p> <p>→P29言葉</p> <p>4 読み深めた感想を交流する。(学習③)</p> <p>・読み深めた後の感想を200字程度でまとめる。</p> <p>・最初の感想と比べながら、どのように感想が変わったか、発表する。</p> <p>◇最後に作者のインタビュー動画を見せ、自分の感想と比べて、感じたことを発表させてもよい。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・場面の展開に着目することで、何が捉えられたか、自分の言葉でまとめる。</p> <p>・小学校で学習した物語や小説の一つ取り上げ、あらすじを発表する。</p> <p>→登場人物と、発端・山場・結末を意識してまとめる。</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>→登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>→場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。</p> <p>【態】場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。</p>
5月	<p>【聞く】</p> <p>情報を的確に聞き取る</p> <p>1時間</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うこ</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。</p> <p>◇自分の体験などを基に、要点を押さえて書き留めることの大切さを理解させる。</p> <p>2 ①の連絡を聞き、メモを取る。</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>とができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>		<p>→DVD・二次元コード</p> <p>3 効果的なメモの取り方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の連絡について、自分のメモと教科書の例を比べて、気づいたことを共有する。 ・「上達のポイント」でメモを取るときポイントを確認する。 <p>4 ②の連絡を開き、メモを取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送委員になったつもりで②の連絡を開き、必要な情報をメモに取る。 <p>→DVD・二次元コード</p> <p>◇3で確認した効果的なメモの取り方を、意識的に取り入れさせる。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを取る意義や、効果的なメモの取り方について理解することができたか。 	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) →情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。 <p>【態】進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。</p>
5月	<p>季節のしおり 春</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<ul style="list-style-type: none"> ・桜にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ歌詞や詩、短歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 <p>◇P68「詩の世界」、P186「助言を自分の文章に生かそう」、P220「構成や描写を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇春をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>→春に関わる言葉にふれ、それぞれの春の情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>
5月	<p>情報整理のレッスン</p> <p>比較・分類</p> <p>1時間</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 学習の目的を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P32上段の導入の文章を読み、目的に合わせて情報を整理することの必要性を理解する。 <p>2 情報を比較・分類する方法を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①比較する(表)、②分類する(ラベリング)、③分類して比較する(べん図)、④順序や流れを整理する(フローチャート)を確認し、情報整理の目的と、それに適した方法を理解する。 <p>◇図や表で整理された情報を見て気づいたことを、「比較に用いる言葉」や「順序を表す言葉」を使って発表させるとよい。</p> <p>3 問題1～2に取り組む。</p> <p>◇分類後、グループで考えを交流させ、目的さえ達成できれば、整理のしかたや観点の立て方は多様であってよいことに気づかせたい。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報はどのように整理するとわかりやすくなるか、目的ごとにまとめる。 <p>→P9「思考の地図」</p> <p>→P271「情報整理の方法」</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>		<p>割を果たしているか考える。</p> <p>→P43^窓「段落の役割に着目する」</p> <p>→P266^窓「説明的な文章を読むために」</p> <p>・「これに対して」などに注目し、その前後の文や段落が、どのようにつながっているかを考える。</p> <p>→P44^{言葉}</p> <p>4 考えたことを発表し合う。(学習③)</p> <p>・わかりやすく説明するための筆者の工夫について、考えたことを発表する。</p> <p>◇題名の付け方、説明のしかた(問いと答え、比較、図など)に着目させるとよい。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・文章全体の中で、段落が果たす役割には、どのようなものがあつたか挙げる。</p> <p>・わかりやすく説明するための工夫のうち、自分が文章を書くときに使ってみたいものを挙げる。</p>	<p>【態】文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。</p>
6月	<p>ちょっと立ち止まって 3時間</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文を通読する。</p> <p>・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>・P50の吹き出しを参考に、共感・納得したところや発見・気づき、疑問点等を挙げる。</p> <p>2 文章の構成に着目し、要旨を捉える。</p> <p>・全体を、大きく三つのまとまりに分け、本論を事例ごとのまとまりに分ける。(学習①-1)</p> <p>・筆者の考え(結論)を基に、文章の要旨をまとめる。(学習①-2)</p> <p>→P50^窓「文章の構成に着目する」</p> <p>→P266^窓「説明的な文章を読むために」</p> <p>2 3 文章の構成に着目し、その効果を考える。</p> <p>・本論の図が何を述べるために示されているかまとめる。(学習②-1)</p> <p>・結論を導くために、序論と本論がどのような役割を果たしているかを考える。(学習②-2)</p> <p>・「見る」ことに関する言葉を抜き出し、注目の度合いや、見る時間の長さの順に整理する。</p> <p>→P51^{言葉}</p> <p>3 4 考えたことを伝え合う。(学習③)</p> <p>・生活の中で、ものの見方や考え方が広がったと思われる体験や事例を発表する。</p> <p>◇最初にもった疑問は解決したか、また学習の前には気づかなかった、新たな発見や疑問があれば、友達どうして報告させるとよい。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・筆者は、なぜ私たちに「ちょっと立ち止まって、他の見方を試して」みることをすすめているのだろう。</p> <p>→「ちょっと立ち止まって」という語句を使って書く。</p> <p>・要旨の捉え方についてわかったことを、自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→筆者の主張と事例との関係を理解している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>→序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。</p> <p>【態】進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	<p>思考のレッスン1 意見と根拠 1時間</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 P52上段の導入の文章を読み、意見の根拠を確認することの大切さを理解する。</p> <p>2 説得力のある根拠について考える。 ・教科書を閉じ、P52中段 A・B の生徒の意見の根拠についてどう思うか考える。 ・説得力のある根拠について話し合う。 ・問題1に取り組み、説得力が弱いと感じるところを挙げ、何が問題かを考える。</p> <p>3 意見と根拠の結び付きを考える。 ・教科書を閉じ、P53中段の二つの意見について、意見と根拠をつなぐ考えを推測する。 ・問題2に取り組み、省略されている意見と根拠をつなぐ考えを推測する。</p> <p>4 学習を振り返る。 ・意見を聞いたり、伝えたりするときのポイントを確認する。</p>	<p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。</p>
6月	<p>話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する 4時間</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★紹介など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	1 2 3-4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 話題を決め、材料を選ぶ。 ・「自分の好きなこと(もの)」の中から、紹介したい話題の一つを選ぶ。 ・話そうと思っている内容について、友達に相談し、みんなに楽しんでもらえそうな材料を選ぶ。 →P272 窓「発想を広げる」</p> <p>2 話の構成を考える。 ・聞き手にとってわかりやすい話の順序を考え、制限時間に収まるように材料を取捨選択する。 ◇1分を目安に内容を整理させる。 ・構成案を基に、スピーチメモを作る。 →P56「スピーチメモの例」</p> <p>3 スピーチの練習をする。 ・友達どうしで練習し、互いの改善点を助言し合う。 →P57 窓「魅力的なスピーチをするために」 ◇話の内容・構成、声の大きさ・速さ・間の取り方を意識させる。</p> <p>4 スピーチの会を開く。 ・順番を決め、スピーチの会を開く。 ・視線を前に向け、聞き手の反応を見ながら話す。 →DVD・二次元コード ◇勇気を出して伝えたいことを届けようとする姿勢を大切にさせたい。 →P57「達人からのひと言」</p> <p>5 学習を振り返る。 ・聞き手にとってわかりやすく、魅力的なスピーチをするために、どんなところに気をつけたか。 ◇P55「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) →聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。</p> <p>【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。</p>
6月	<p>漢字に親しもう2 1時間</p> <p>◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。ま</p>	1	<p>1 新出漢字を確認する。</p> <p>2 練習問題に取り組む。 →P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302 窓「一年生で学習した漢字」 →P317 窓「一年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</p>	<p>【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	た、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)		◇P255「[練習] 小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。	→小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6月	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 2時間 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 P59の導入や教材文を読み、言葉のまとまりについて考える。 ・例文を音読し、間を取った箇所を確認する。 2 P238-241文法1「言葉の単位」を読む。 ・「文法とは」を読み、文法の定義を理解する。 ・「言葉の単位」を読み、「文章・談話」「段落」「文」「文節」「単語」の違いと各々の特徴を理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。 ・P239「読むことに生かす」を読み、段落に着目して読むことで、説明的な文章の内容や構成が捉えやすくなることを理解する。	【知・技】単語の類別について理解している。(1)エ →文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 【態】単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。

情報社会を生きる

6月	情報を集めよう 情報を読み取る 情報を引用しよう 3時間(読①書②) ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア) ★学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたります。(思・判・表C(2)ウ)	1 2 3	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 調べる内容を絞り込む ・言葉の何について調べるかを焦点化する。 ◇調べたいことを「問い」の形にさせるとよい。 2 調べ方を考え、情報を集める ・P61下段「やってみよう」に示された項目の調べ方を考え、その方法で有効な情報が得られるかどうか、学校図書館で確かめる。 ◇本の探し方や、本や事典、新聞から情報を集める方法を理解させる。 ◇インターネット検索の方法と留意点を確認させる。 ・自分が決めたテーマについて、どのように調べるのがよいかを考え、実際に情報を集める。 3 情報を読み取る ・グラフの種類や特徴、情報を読み取る方法を理解し、グラフを読むときの留意点を確認する。 ・P63「やってみよう」で、複数のグラフや文章の中の情報を関連づけながら読み解く。 4 情報の適切な引用のしかたを考える。 ・集めた情報を適切に引用しながら、わかったことや考えたことをまとめる。 ・出典の示し方に注意して「参考文献」を書く。 ◇P64の資料 A ・ B とP65を参考にさせる。 5 著作権について知る。 ・著作権の定義や、著作者の許可が必要ない場合について確認する。 6 学習を振り返る。 ・興味・関心のあるテーマを挙げ、どんな情報の調べ方が適しているかを考える。 ・どんな情報を伝えるのに、どんなグラフが示されているか、本や新聞から探して話し合う。	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ →グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) →必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。 【態】引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
----	--	-------------	--	---

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3 言葉に立ち止まる				
7月	<p>詩の世界</p> <p>【書く】詩を作ろう</p> <p>3時間(読②書①)</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩や解説文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★詩を創作し、感じたことや考えたことを書く。(思・判・表B(2)ウ)</p>	1-2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を調べる。 <p>2 詩を読んで、感じたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないと思った事柄や言葉。(学習①-1) ・美しさやおもしろさを感じた事柄や言葉。(学習①-2) <p>3 描かれた情景や表現の効果について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩に描かれている情景。(学習②-1) ・それぞれの詩で、最も印象に残った表現とその効果。(学習②-2) <p>◇友達の見解との共通点や相違点を確認させる。</p> <p>4 詩のよさを発表する。(学習③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三編の中で最も心に響いた詩はどれか。どんなところによさを感じたのか、発表する。 <p>3</p> <p>5 三編の詩の表現を参考にして、詩を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を参考に題材を考える。 ・印象に残った表現や例を参考にして、詩を書く。 <p>→P224「さまざまな表現技法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み合って感想を伝え合う。 <p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み深めるためには、どんなことに注意して読むといいか、「詩を読み深めるためには」に続くように書く。 ・詩を作るときに、表現で工夫したこととその効果をグループで共有する。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)→詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)→表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)→詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)→自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。 <p>【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもつて詩を創作しようとしている。</p>
7月	<p>比喩で広がる言葉の世界</p> <p>2時間</p> <p>◎比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>2 段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比喩」が、文中で、どのように定義されているかを確認する。(学習①-1) ・筆者が挙げている比喩の二つの効果を具体例とともにまとめる。(学習①-2) <p>→P224「さまざまな表現技法(比喩)」</p> <p>2</p> <p>3 言葉について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P76の図を説明し、比喩を使うかどうかで、表現にどんな違いが出るかを考える。(学習②-1) ・身の回りにある「比喩の発想」が生かされた言葉を見つけて、友達に報告する。(学習②-2) <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩について理解し、言葉について考えを深めたことをまとめる。 	<p>【知・技】比喩などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)→文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)→各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。</p> <p>【態】進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	言葉 1 指示する語句と接続する語句 2時間 ◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 導入の課題に取り組み、指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 ・教科書の表を基に、指示する語句(「こそあど言葉」)の種類を把握する。 ・例を基に、前後の文をつなぐ働きを理解する。 3 接続する語句について理解する。 ・教科書の表を基に、接続する語句の働きによる分類を理解する。 ・例を基に、接続する語句には書き手や話し手の気持ちが反映されることを知る。 4 学習したことを日常につなぐ。 ・「読むことに生かす」を読み、指示する語句や接続する語句に着目することで、文章の展開や構成をつかむ手がかりになることを理解する。	【知・技】 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) →指示する語句と接続する語句の役割を理解している。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
7月	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目指して 1時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 学習の目的を理解する。 ・リード文を読み、豊かに表現するためには、語句の量を増やす必要があることを理解する。 2 友達に紹介したいものを決める。 3 観点を決めて、言葉を集める。 ・P80のマッピングを参考に、観点を決め、思いつう言葉を挙げる。 ・挙げた言葉について、似た意味の言葉や修飾する言葉を考える。 ◇国語辞典や類語辞典を活用させるとよい。 4 100字程度で紹介文を書く。 ・読み手が、そのよさや様子を具体的に想像できるように、言葉の選び方を工夫して書く。 →P81「紹介文の例」「程度を表す言葉」 →P300 ^図 「語彙を豊かに」 5 学習を振り返る。 ・読み手に伝えるときに、どんな表現が具体的に想像しやすかったか。「言葉の選び方」について気づいたことを話し合う。	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) →言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
読書生活を豊かに				
7月	読書を楽しむ 1時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 ・本を読んだ後、記録をしたり、友達に紹介したりする学習活動について理解する。 2 「ポップ作り」、「読書掲示板」、「読書記録」の中から、夏休みに行く活動を選ぶ。 →P20「続けてみよう」 ◇学校や地域の状況に応じて、指導者が活動を決めてもよい。 3 活動の内容に沿って、見通しを立てる。 ・ポップは、読書記録を基に本を決め、必要な情報を選択して、本の魅力が伝わるように紹介する。 ・読書掲示板は、選んだ生徒どうしで、感想を交流する本を一冊決めて感想を付箋などに書く。 ・読書記録は記録のしかたを確認する。 ◇教材文を基に、手順やポイントなどを示した活動計画書を用意し、配布するとよい。 4 ポップ、読書掲示板用の感想、読書記録を提出する。 ・それぞれの活動で作成したポップや感想、記録した読書ノートなどを夏休み明けに提出する。 ◇完成物は、教室や学校図書館に展示するとよい。	【知・技】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) →さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【態】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
			<p>◇次時の「本の中の中学生」と合わせて指導することも考えられる。</p> <p>→P84「本の中の中学生」</p> <p>→P190「考える人になろう」</p> <p>→P90, 194「本の世界を広げよう」</p>	
7月	<p>本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い 1時間</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする事ができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(思・判・表C(2)ウ)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1「本の中の中学生」の三編の作品を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えていることや悩んでいることが似ている登場人物、友達になれそうな登場人物はいないか、探しながら読む。 ・「本の中の中学生」の三編の作品の中から気に入った作品とその理由を友達と共有する。 <p>◇学校図書館や地域の図書館に行つて続きを読んだり、同じ作者が書いた別の作品や、他の作家が書いた同じテーマの本を読んだりするなど、実際に本を手取るように促すとよい。</p> <p>2 学校図書館などを利用して、「本の中の中学生」というテーマで一冊選び、推薦文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が登場する小説や実在の人物の中学時代を描いたノンフィクションなどから一冊選ぶ。 <p>◇なかなか一冊を選べない生徒には、教科書の三編の続きを読ませ、推薦文を書かせてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示したり、スピーチをしたりして、感想を付箋に書き、友達と感想を交流する。 <p>→P92「私の一冊」</p> <p>→P93「本との出会い」</p> <p>◇前時の「読書を楽しむ」と合わせて指導することも考えられる。</p>	<p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>→読書が、知識を得たり、新しいものの方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ)</p> <p>→文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。</p> <p>【態】文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
7月	<p>季節のしおり 夏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<ul style="list-style-type: none"> ・風まつわる言葉や夏の情景を詠んだ詩、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 <p>◇P68「詩の世界」、P186「助言を自分の文章に生かそう」、P220「構成や描写を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇夏をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>→夏に関わる言葉にふれ、それぞれの夏の情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4 心の動き				
9月	<p>大人になれなかった弟たちに…… 4時間</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる(思・判・表C(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★物語を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	<p>1-2 「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 ・「母」が食べ物をあまり食べなかったり、「僕」が「ヒロユキ」のミルクを盗み飲みしてしまったりした理由を確かめる。(学習①-1) ・提示された部分から「僕」や「母」の気持ちを考える。(学習①-2) →P104窓「描写に注目する」 →P264窗「文学的な文章を読むために」 ◇提示された部分以外にも、登場人物の心情がわかる描写に線を引かせ、心情を考えさせる。</p> <p>3 3 題名のもつ意味について考える。(学習②) ・作品の時代背景を踏まえて、題名のもつ意味について話し合う。</p> <p>4 表記に込められた、作者の意図を考える。 ・「ヒロユキ」や「ヒロシマ」「ナガサキ」を片仮名表記にした、作者の意図を考える。 →DVD・二次元コード →P105言葉</p> <p>4 5 思いを伝える朗読会をする。(学習③) ・読み取ったことを踏まえ、場面の様子や登場人物の心情がより伝わるように読む。 ◇出典の絵本もあわせて提示するとよい。 →P103広がる読書</p> <p>6 学習を振り返る。 ・描写に着目することで、どんなことが読み取れたか、自分の言葉でまとめる。 ・関連する本を読んで、さらに考えが深まったことを挙げる。</p>	<p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ →戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) →描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。</p> <p>【態】登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。</p>	
9月	<p>星の花が降るころに 5時間</p> <p>◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	<p>1-2 「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →二次元コード(銀木犀)</p> <p>2 「私」を中心に作品の内容を押さえる。 ・時や場所、登場人物の組み合わせなどに注意して、作品をいくつかの場面に分ける。(学習①-1) ・場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化を表などにまとめる。(学習①-2)</p> <p>3-4 3 場面や描写を結び付けて読む。(学習②) ・提示された場面や描写を比べることで、どんなことが読み取れるか、話し合う。 →P114窓「場面や描写を結びつけて読む」 →P264窗「文学的な文章を読むために」 ・「雪が降るように」のように、様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どんな情景や気持ちを表しているか考える。 →P115言葉</p> <p>5 4 印象に残った場面や描写を語り合う。(学習③) ・印象に残った箇所やその理由をグループで述べ合う。</p>	<p>【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ →様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(C(1)ウ) →場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。</p> <p>【態】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
			<p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の場面や描写を結び付けて読むと、どんなことが見えてきたか、自分の言葉でまとめる。 ・読み取ったことを踏まえ、この後、作品がどう続いていくかを考えて書く。 	
9月	<p>聞き上手になろう 質問で話を引き出す 1時間</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 きき方の工夫や質問の種類を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「林さんの話」を聞く(P116右下を読んでもよい)。 →DVD・二次元コード ・P117の「きき方の工夫」と「質問の種類」を読み、林さんへの質問を考える。 ◇「絞る質問」から「広げる質問」の順に挙げさせるとよい。 ◇P117の説明に合わせて、「質問のしかた」を視聴させるとよい。 →DVD・二次元コード <p>2 「夏休みのいちばんの思い出」をテーマに、対話の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組になり、話し手と聞き手に分かれる。 ・話し手がテーマについてスピーチをする。 ・聞き手はきき方や質問のしかたを工夫し、質問で話を引き出す。三往復以上のやり取りをする。 →p116窓「質問で話を引き出すには」 ・役割を替えて繰り返す。 <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにきき方の工夫をしたか、また話し手にどんな質問をし、どんなことを引き出せたか。聞き上手になるための秘訣をまとめる。 	<p>【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)</p> <p>→話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)</p> <p>→話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。</p> <p>【態】進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。</p>
9月	<p>項目を立てて書こう 案内文を書く 2時間</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 案内文の書き方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学校で配布された「お知らせ」や、行事のポスターなど、身の回りの案内文を参考にさせる。 →P276「手紙の書き方」 <p>2 案内する事柄と相手を決め、情報を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P119の合唱コンクールの案内を参考に考える。 ◇相手の立場に立って情報を選び、項目を立てて整理させる。 →P118窓「わかりやすい案内文を書くには」 <p>2 3 案内文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇相手にわかりやすいよう、項目の順序や表現を工夫させるとよい。 →P120「読み手の立場に立つ」 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した案内文について、友達と工夫したところを伝え合い、改善点を助言し合う。 	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>→伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。</p> <p>【態】集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書くようとしている。</p>
9月	<p>【推敲】読み手の立場に立つ 1時間</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 読み手の立場に立って、案内文を推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P119の案内文を参考に、P120の地域の人に向けた体育祭の案内を書き改める。 ・必要に応じて情報を補ったり、削ったりする。 	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★行事の案内を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>		<p>→P275「文章の推敲・原稿用紙の使い方」</p> <p>2 書きかえた案内文について、伝えようとする内容が正確に、わかりやすく書き表されているか、友達と話し合う。</p> <p>◇大事な情報が抜け落ちていないか、確認をさせる。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <p>・案内文の推敲で、どんなことが大切かまとめる。</p>	<p>→正確でわかりやすい表現に書き改めている。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>→読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。</p> <p>【態】粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。</p>
10月	<p>言葉2 方言と共通語</p> <p>2時間</p> <p>◎共通語と方言の果たす役割について理解することができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1-2	<p>1 導入の課題に取り組む、地域による言葉の違いについて関心をもつ。</p> <p>2 教材文を読み、方言と共通語の違いを理解する。</p> <p>・語句・表現・文法・発音の違い。</p> <p>・共通語の必要性。</p> <p>3 P122「生活に生かす」を読み、方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。</p>	<p>【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ)</p> <p>→共通語と方言の役割や特徴について理解している。</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p>
10月	<p>漢字2 漢字の音訓</p> <p>1時間</p> <p>◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 導入部分を読み、漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。</p> <p>2 「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。</p> <p>・複数の読みがある漢字や熟語について考える。</p> <p>3 漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。</p> <p>→P19「言葉を調べる(漢和辞典)」</p> <p>→P302【資】「一年生で学習した漢字」</p> <p>→P317【資】「一年生で学習した音訓」</p> <p>◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</p>	<p>【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>→漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
5 筋道を立てて				
10月	<p>「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ</p> <p>4時間</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文を通読する。</p> <p>・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>◇P129の二次元コードを使って、シジュウカラの鳴き声を聞かせ、興味づけを図るとよい。</p> <p>→DVD・二次元コード</p>	<p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p>
		2	<p>2 文章の構成と内容を捉える。</p> <p>・本文を5つの部分に分ける。(学習①-1)</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★記録の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>	3 4	<p>・筆者がどのような事実を基に、どのような仮説を立てたかを確かめる。(学習①-2)</p> <p>◇事実を示す文末表現と、仮説を述べるときの文末表現の違いに着目させるとよい。</p> <p>・「仮説・仮定・予想」「検証・証明・裏づけ」の言葉の意味や使い方の違いを考える。</p> <p>→P135 言葉</p> <p>3 論の展開に着目し、その効果を考える。</p> <p>・仮説の検証1・2について、観点を立てて、表にまとめる。(学習②-1)</p> <p>・なぜ仮説が証明されたといえるか、表を基に話し合う。(学習②-2)</p> <p>◇P131実験の様子について、動画を見せるとよい。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>◇仮説1の検証結果から、さらに疑問が生まれ仮説2が生まれ、という展開になっていることに気づかせる。筆者が「事実」をどう解釈して意見へと展開しているのか、形式段落の冒頭や文末表現に着目させ、読み取らせるとよい。</p> <p>4 結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。(学習③)</p> <p>→P134 窓「構成や展開の効果を考える」</p> <p>→P266 窓「説明的な文章を読むために」</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・筆者の論の展開の特徴を説明する。 →「事実と意見」という言葉を使って書く。</p> <p>・説得力のある文章を書くために使ってみたい工夫を挙げる。</p>	<p>→筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。</p> <p>【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
10月	<p>思考のレッスン2</p> <p>原因と結果</p> <p>1時間</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 P136の例題や問題1から、原因と結果を抜き出し、どのようにつながっているかを整理する。</p> <p>・原因と結果を表す言葉を例文から抜き出す。</p> <p>◇例文に線を引かせる。教科書の類題を準備し、練習させ定着させるとよい。</p> <p>2 P137の例題や問題2から、原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ、パターン別に整理する。</p> <p>・「単なる偶然」「逆の因果関係」「疑似相関」について、筋道の上での問題点を指摘する。</p> <p>◇「単なる偶然」である理由や、「原因と結果が逆」である理由を説明させたり、「隠された別の要因」は何かを指摘させたりするとよい。</p> <p>→他地理の気候帯は相関関係、歴史の出来事は因果関係で説明できることにふれる。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <p>・話の筋道を理解するには、原因と結果の関係を捉えることが大切だということを確認する。</p>	<p>【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。</p>
10月	<p>根拠を示して説明しよう</p> <p>資料を引用してレポートを書く</p> <p>5時間</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎書く内容の中心が明確になる</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 課題を決め、調査を行う。</p> <p>・中学生に関する調査の課題を決める。</p> <p>・課題に対して仮説を立て、仮説を証明する方法を考えて調査項目を決め、調査する。</p> <p>→P272 窓「発想を広げる」</p> <p>→P274 窓「アンケート調査の方法」</p> <p>◇「仮説」の意味がわからない生徒には、『言葉』</p>	<p>【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、書く内容の中</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>ように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	2-3 4-5	<p>をもつ鳥、シジュウカラ」での学習を想起させる。 →P135「学習で用いる言葉」</p> <p>2 調査結果を整理し、構成を考える。 ・調査結果を整理し、得られた情報を正確に捉えて分析し、そこから何がいえるかを考える。 ・書く内容を決め、全体の構成を考える。 ◇P32「情報整理のレッスン 比較・分類」を再読し、情報の分類・比較のしかた、順序や流れの整理のしかたを確認させたい。 ◇『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」での学びを生かし、調査の結果と、結果に基づく考察・解釈のつながりを確かめさせるとよい。 →P134[窓]「構成や展開の効果を考える」</p> <p>3 図表などを引用してレポートを作成する。 ・自分の考えに説得力をもたせるために資料を引用し、レポートの構成に沿ってまとめる。 →P141[窓]「根拠を明確にして自分の考えを伝えるには」 ◇P142「統計資料の例」にある資料を使ってまとめさせるとよい。 ◇P140「レポートの例」を参考に、レポート完成のゴールイメージをもたせるとよい。 ◇引用のしかたや出典の示し方を確認させる。 →P64「情報を引用しよう」 →P143「達人からのひと言」 →[他]理科:レポート/社会:報告文</p> <p>4 レポートを読み、評価し合う。 ・レポートの内容や構成、文章や図表の引用のしかたなどについて、説得力があると思った点や、もっと詳しく知りたいと思ったことを伝え合う。 ◇学習の導入時に、評価の観点や到達ラインをしておく、学習への意欲も高まりやすい。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・根拠を明らかにして、説得力のある文章を書くことができたか。 ・さまざまな情報を整理できたか。 ◇P139「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>→自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>→自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。</p> <p>【態】文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。</p>
10月	<p>漢字に親しもう3 1時間</p> <p>◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 新出漢字を確認する。</p> <p>2 練習問題に取り組む。 →P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302[窓]「一年生で学習した漢字」 →P317[窓]「一年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ◇P255「[練習]小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。</p>	<p>【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</p> <p>→小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
10月	<p>【話し合い】</p> <p>話し合いの展開を捉える</p> <p>1時間</p> <p>◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(思・判・表A(2)イ)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 教材文を読み、「登山研修の思い出」についての展示内容の話し合いであるという目的を確認する。</p> <p>2 話し合いの例文を聞き、空欄①②に当てはまる言葉を検討する。 →DVD ◇「上達のポイント」を参照しながら、考えさせるとよい。</p> <p>3 学習を振り返る。 ・話題や流れを捉えて議論するためには、どのようなことに気をつければよいか、考えることができたか。</p>	<p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →「上達のポイント」にある「根拠を述べる」「前の人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話に戻す」を理解している。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。</p> <p>【態】進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。</p>
11月	<p>話題や展開を捉えて話し合うグループ・ディスカッションをする</p> <p>4時間</p> <p>◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(思・判・表A(2)イ)</p>	1 2-3 4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 話し合いの話題を決め、目的を明確にする。 ・例を参考に、話し合いたい話題を決める。 ・何を目標として話し合うのかを明確にする。 →P272資「発想を広げる」</p> <p>2 自分の考えをまとめる。 ・自分の意見を付箋や小さなカードに書き出し、それぞれの意見の根拠を考える。</p> <p>3 司会と書記を決め、グループで話し合う。 ・話題と目的を確認し、意見を出し合う。 ・模造紙や付箋紙を使って、出し合った意見を整理し、結論をまとめる。 →DVD・二次元コード →P149窓「話題や展開を捉えて話し合うためには」 ◇P148下段「共通点や相違点を見つけて、分類する」をあらかじめ示し、話し合いの進め方を理解させるとよい。 →P32「情報整理のレッスン 比較・分類」</p> <p>4 話し合いの結果を報告する。 ・結論とその根拠をクラス全体に伝える。 ・結論が出なかった場合にも、どこまで決まったかを伝える。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・話題や展開を捉えながら話し合うことができたか。 ・互いの発言を結び付けて考えをまとめることができたか。 ◇P147「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。</p> <p>【態】積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。</p>
11月	<p>音読を楽しもう 大阿蘇</p> <p>1時間</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにするこ</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・繰り返しの表現や、繰り返しながら変化していく表現などに注目する。 ・新出漢字を調べる。 ◇阿蘇の風景を動画や静止画などで見せるとよい。</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) →詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	とができる。(知・技(1)ウ) ◎文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)			の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) →繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。 【態】進んで表現の効果について考え，今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	季節のおしり 秋 ・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	-	・月にまつわる言葉や，秋の情景を詠んだ俳句や和歌，小説の一説を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。 ◇P68「詩の世界」，P186「助言を自分の文章に生かそう」，P220「構成や描写を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。 ◇秋をテーマにした他の詩歌を探し，交流することもできる。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) →秋に関わる言葉にふれ，それぞれの秋の情景を想像している。 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
6 いにしえの心にふれる				
11月	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界 1時間 ◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎古典にはさまざまな種類の作品があることを知ることができる。(知・技(3)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 P154「いろは歌」を音読する。 ・リズムを味わいながら繰り返し音読する。 →DVD・二次元コード ・三段目の現代語訳と関連付けながら読む。 ◇七五調の「今様」であることにふれるのもよい。 2 P156「古典の世界」を読み，3年間の古典学習について見通しをもつ。 ・和歌や物語，随筆など，3年間でさまざまな古典作品にふれることを知る。	【知・技】 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。(3)ア) →言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) →小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし，古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。 【態】古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り，今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
11月	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から 4時間 ◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切に，	1	【目標】や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し，学習の見通しをもつ。 1 作品を通読する。 ・古典の文章を，リズムを味わいながら繰り返し音読する。(学習①) →DVD・二次元コード ・新出漢字を調べる。 ◇小学校の高学年で，「竹取物語」冒頭部分は既に学習していることを踏まえる。	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。(3)ア) →音読に必要な文語のきまり，古文特有のリズムについて理解し，その世界に親しんでいる。 【思・判・表】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。(C(1)イ) →「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み，現代の自分たちと比べ，古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。
		2	2 古典の文章について，現代の文章との違いを確かめる。(学習②) ・仮名遣いの違いを確かめる。 ・文末の言葉の違いを確かめる。 ・現代とは違う意味で使われている言葉や，現代では使われなくなった言葉の意味を確かめる。	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★物語などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	3-4	<p>→P169「古典の言葉」</p> <p>3 描かれている古典の世界を想像する。(学習③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の思いや行動を書き出し、現代の自分たちの考えや行動と通じるところを探す。 <p>◇P166「貴公子たちの失敗談」は、内容にちなんだ言葉遊びで締めくくられている。現代でも、言葉遊びが社会のさまざまなところで使われていることに気づかせたい(例:商品名など)。</p> <p>◇「竹取物語」はさまざまな形で表現されている(P165)。表現の媒体により、どのような魅力がより強く伝わるかを考える学習も想定できる。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の文章と古典とを比べ、どんな違いに気がついたか挙げる。 ・古典の物語を読んで、興味をもったことや、もっと知りたいことを、友達と伝え合う。 	<p>【態】進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。</p>
11月	<p>今に生きる言葉</p> <p>【書く】故事成語を使って体験文を書こう</p> <p>2時間(読①書①)</p> <p>◎音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★漢文を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★本や資料から文章を引用して説明するなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。(学習①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」上段の漢文を繰り返し音読し、読み慣れる。 <p>→DVD・二次元コード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を調べる。 <p>→P174「漢文を読む」</p> <p>2 本文を読み、故事成語について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」がどんな故事に由来し、どんな意味で使われるようになったかを説明する。(学習②-1) ・「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の言葉の意味や、基になった故事を調べる。(学習②-2) <p>◇漢和辞典、故事成語辞典、国語便覧等を使用させるとよい。</p> <p>→P19「言葉を調べる」</p> <p>2</p> <p>3 故事成語を使って、体験文を書く。(学習③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順に沿い、「矛盾」と自分の体験を結び付けた短い文章を書く。 <p>→P173「故事成語を使って体験文を書こう」</p> <p>◇体験文を友達と読み合い、感想や意見を述べ合う活動も積極的に取り入れたい。</p> <p>◇体験と故事成語が一致しない生徒がしばしばいる。5W1Hで体験を整理させ、具体的な状況が故事成語と重なるように指導するとよい。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読の中で気づいた、漢文独特の言い回しを挙げる。 ・挙げられている故事成語は、日常生活の中でどのように使われているか考える。 	<p>【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>→音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) →「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) →「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。 <p>【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。</p>
7 価値を見いだす				
12月	<p>「不便」の価値を見つめ直す</p> <p>【書く】根拠を明確にして、意見をまとめよう</p> <p>4時間(読③書①)</p> <p>◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文を通読し、内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・筆者の定義する「不便益」を確かめる。(学習①-1) ・「不便のよい面」「便利の悪い面」について整理する。(学習①-2) 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>技(2)ア)</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p> <p>★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	2-3	<p>◇P178「図1②」に、筆者の事例を書き込ませるとよい。</p> <p>→P185「言葉」</p> <p>2 筆者の考えを要約する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読んだことがない人に説明するつもりで、筆者の考えを200字程度で要約する。(学習②-1) <p>→P184「窓」「目的に応じて要約する」</p> <p>→P266「資」「説明的な文章を読むために」</p> <p>◇文章の要点や核(キーワードや大切な段落、まとまりの中心となる文)を抜き出させるとよい。</p> <p>◇まとめの言葉(つまり、このように)を手がかりとして探す方法を示してもよい。</p> <p>◇最初から200字程度にするのではなく、400字から200字に絞り込ませたり、マーカーで事例と意見に分けさせたりといった手順を踏むとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達どうしで要約を読み合い、助言し合う。(学習②-2) <p>4 3 根拠を明確にして、意見をまとめる。(学習③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の条件に沿って自分の考えを書く。 <p>◇筆者の川上浩司さんがどんな思いでこの文章を書いたか紹介してもよい。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不便の価値」のように、固定観念にとらわれずに考えたとき、価値が見いだせるものを挙げる。 ・日常生活や他教科の学習の中で、要約が役立てられる場面を考えてみる。 <p>◇他教科や「総合的な学習の時間」では、テーマに沿った調査活動をする人が多い。調査結果を発表する際、重要な部分や伝えたい部分を選択し、自分なりの要約をした経験がこれまでもあることに気づかせたい。</p>	<p>理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) →目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) →賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。 <p>【態】積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>
12月	<p>助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 2時間</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1-2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を選び、内容や魅力を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を選び、P187「作品を分析するときの観点」を用いて分析する。 <p>◇思考ツールを用いて分析させるのもよい。</p> <p>→P9「思考の地図」</p> <p>2 どの観点から論じるかを決め、書評を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P187「書評に使う言葉」「書評の例」を参考に、観点を決め、400字程度で書く。 <p>→P32「情報整理のレッスン 比較・分類」</p> <p>→P80「言葉を集めよう」</p> <p>→P120「読み手の立場に立つ」</p> <p>→P300「資」「語彙を豊かに」</p> <p>→他美術・音楽鑑賞文</p> <p>3 友達どうしで書評を読み、助言し合う。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を分析するときの観点を決め、「書評に使う言葉」を利用して、書評を書くことができたか。 ・友達の書評を読み、助言し合うことができたか。 	<p>【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>→書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p> <p>→読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。</p> <p>【態】読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	漢字に親しもう 4 1時間 ◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。 →P19「言葉を調べる(漢和辞典)」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302【資】「一年生で学習した漢字」 →P317【資】「一年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ◇P255「[練習]小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。	【知・技】 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ →小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12月	文法への扉 2 言葉の関係を考えよう 2時間 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 P189の導入や教材文を読み、言葉の関係について考える。 ・わかりやすく伝えるためには文節どうしの関係を理解する必要があることに気づく。 2 P242-246文法2「文の組み立て」を読み、「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解する。 ・下段の練習問題に取り組む、理解したことを確認する。 ・P246「書くことに生かす」を読み、あいまいな文の推敲に生かせることを知る。	【知・技】 単語の類別について理解している。(1)エ →「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。 【態】 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
読書に親しむ				
12月	考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう 1時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするすることができる。(思・判・表C(1)オ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(思・判・表C(2)ウ)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引く。 →P292【資】「読書感想文の書き方」 ◇疑問や悩みを解決するためのヒントや、新しい発想、考え方が表れている部分に線を引き、その部分を根拠にグループで発表し合うとよい。 2 文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。 →P54「話の構成を工夫しよう」 →P116「聞き上手になろう」 ◇スピーチのしかた、話の聞き方の学習が定着しているかどうかを、この学習で確かめる授業構想もあるだろう。 ◇読書の意義を理解させる活動である。読書案内と、学校図書館の蔵書をリンクさせるなどして、読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを実感させたい。 ◇「続きはこちら」を読み、学校図書館や地域の図書館に行って続きを読んだり、同じ筆者が書いた別の作品や「君たちはどう生きるか」の漫画を読んだりするなど、実際に本を手取るように促すとよい。 →P90, 194「本の世界を広げよう」	【知・技】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ →読書の意義(=読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解している。 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) →筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものにしていく。 【態】 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	<p>季節のしおり 冬</p> <p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<p>・雪にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ詩や俳句、文章の一説を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>◇P68「詩の世界」、P186「助言を自分の文章に生かそう」、P220「構成や描写を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇冬をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>→冬に関わる言葉にふれ、それぞれの冬の情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
8 自分を見つめる				
1月	<p>少年の日の思い出</p> <p>【書く】別の人物の視点から文章を書き換えよう</p> <p>6時間（読④書②）</p> <p>◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)ウ）</p> <p>◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる（思・判・表C(1)エ）</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。（思・判・表C(1)オ）</p> <p>◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。（思・判・表B(1)イ）</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。（思・判・表C(2)イ）</p> <p>★詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く。（思・判・表B(2)ウ）</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ◇文章の中で語句の意味に注意させる。 <p>2 作品の展開を捉える。（学習①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り手の転換に注意しながら、全体が前半と後半の二つに分かれていることを確認する。 ・時間、場所、出来事に着目しながら、後半をいくつかの場面に分け、概要を短くまとめる。 →P212窓「語り手に着目する」 <p>3 「僕」の心情の変化をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「僕」から見た「エーミール」の人物が描写されている部分を探して抜き出す。（学習2-①） ・クジャクヤママユのうわさを聞いてから、盗み、壊すまでの「僕」の心情の変化をまとめる。（学習2-②） ・最後に収集したちょうを潰す「僕」の行動を基に心情を捉える。（学習2-③） ◇作品に使われている「熱情」という言葉について考え、読み取りの手立てとするとよい。 →P213言葉 <p>4 別の人物の視点から文章を書き換える。（学習③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物を決め、書き換える場面を選び、創作する。 ◇「母」「エーミール」以外にも、「作品前半の語り手」など、幾つかの視点を与えるとよい。 ・書き上げた文章を読み合い、感想や意見、作品や登場人物について発表し合う。 <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「僕」の考え方や感じ方について、共感することや疑問に思うところを話し合う。 ・別の登場人物の視点も踏まえて読むことで、自分の考えや作品の印象はどのように変わったか、挙げる。 	<p>【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ）</p> <p>→場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。（C(1)エ） →時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。（C(1)オ） →登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。（B(1)イ） →別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。 <p>【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。</p>
1月	<p>漢字に親しもう5</p> <p>1時間</p> <p>◎小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)イ）</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（主体的に学習に取り組む態度）</p>	1	<p>1 新出漢字を確認する。</p> <p>2 練習問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> →P19「言葉を調べる（漢和辞典）」 →P258「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P302資「一年生で学習した漢字」 →P317資「一年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ◇P255「[練習] 小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 	<p>【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)イ）</p> <p>→小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
1月	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 2時間 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 P189の例題に取り組み、単語の性質について考える。 ・単語を組み合わせる過程で、性質の違いに気づき、それによって分類できることを理解する。 2 P247-250文法3「単語の分類」を読み、「自立語と付属語」、「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。 ◇必要に応じて、P251-254の活用表を用いて理解を深めさせる。	【知・技】 単語の類別について理解している。(1)エ →「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
1月	随筆二編 2時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★随筆を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 2 語句や表現の工夫に着目する。(学習①) ・印象に残った語句や表現を挙げる。 ◇情感のある表現に着目させ、語感を磨き語彙を豊かにしていきたい。 ◇「印象に残った語句や表現」で伝わりにくい場合には、「情感のある表現」と指示することも考えられる。「空はどのように描写されているだろう」「父親とのやり取りで、しみじみとしたよさを感じる部分はどこだろう」などの指示に置き換えると、さらにわかりやすくなる。 →P196「季節のしおり 冬 雪にまつわる言葉」 →P81「言葉を集めよう 紹介文の例」 →P99「大人になれなかった弟たちに……」(母への思いの描写) 2 3 筆者の考えや思いについて話し合う。(学習②) ・筆者が「風花」ではなく「空」という題名を付けたのはなぜかを考える。(学習②-1) ・「えんぼう」という言葉は、幼い「私」にとってどのような意味をもっていたと筆者は考えているか、話し合う。(学習②-1) ◇「空」は自然の美を感じた経験、「えんぼう」は言葉についての古い記憶について述べている点を押さえたい。 4 自分の体験を振り返って伝え合う。(学習③) ・自分自身の体験を振り返り、忘れられない「自然の美しさ」や「言葉」について伝え合う。 →P219窓「随筆を味わう」 →P264窓「文学的な文章を読むために」 ◇P220「構成や描写を工夫して書こう」の前段階の学習であることを踏まえて指導するとよい。 5 学習を振り返る。 ・印象に残った語句や表現について話し合う。 ・筆者の思いや考えについて共感するところなど、随筆を読むことで生まれた感想を交流する。	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ →「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。 【思・判・表】 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ) →場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。 【態】 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
2月	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 4時間 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 随筆の題材を選ぶ。 ・随筆に取り上げたい体験を思い出し、一つ選ぶ。 ◇P220-221下段「体験から思い出す」「テーマから思い出す」を参考にさせるとよい。 →P216「随筆二編」 →P272窓「発想を広げる」	【知・技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ →体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3月	<p>一年間の学びを振り返ろう</p> <p>要点をフリップにまとめ、発表する</p> <p>5時間(話聞③書②)</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 観点を決め、一年間の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印象に残っていることや興味を引かれたことの中から、振り返る観点を決める。 決めた観点を教科書やノートなどを読み返し、集めた情報をカードなどに書き出す。 <p>◇複数の物事に共通する特徴と、それぞれにしかない特徴を分類する。</p> <p>→P32「情報整理のレッスン 比較・分類」 →P34「情報を整理して書こう」 →P230-231下段「観点を探す」「観点の例」</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) →情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) →聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。 <p>【態】集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。</p>
3月	<p>さくらの はなびら</p> <p>1時間</p> <p>◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かかなものにするすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩を読み、考えたことなどを伝え合う。(思・判・表C(2)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 詩を読み、印象に残った表現を発表する。(学習①)</p> <ul style="list-style-type: none"> 詩の中で印象に残った言葉や表現を抜き出し、理由とともに発表する。 <p>◇平易な言葉で書かれた短い詩であるため、言葉が素通りして、印象に残らない生徒もいるだろう。その場合、あまり時間をかけずに学習②へと授業を展開する。</p> <p>2 三つの表現の意味を考える。(学習②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①～③の表現について意味を考える。 <p>◇P236下段の黄色の吹き出しの言葉に着目させて、理解を促すとよい。</p> <p>→P224「言葉3 さまざまな表現方法」</p> <p>3 作者の思いについて語り合おう。(学習③)</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み深めたことを基に作者の思いを想像し、考えたことを語り合う。 	<p>【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) →詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かかなものにしていく。(C(1)オ) →詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かかなものにしていく。</p> <p>【態】文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かかなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
振り返り				
3月	<p>学習を振り返ろう</p> <p>3時間（読①話聞①書①）</p> <p>◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎共通語と方言の果たす役割について理解することができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p> <p>◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p> <p>★紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	<p>1</p> <p>1 P260の説明文を読み、学習課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網走地方気象台の観測記録から、どんな事実が明らかになったか、二つに分けて書く。 ・「流氷の減少は、人類に対する自然からの警告かもしれない。」について。どのような警告かを考えて書く。 <p>→P46「ちょっと立ち止まって」</p> <p>→P126「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」</p> <p>◇「つなぐ」を読み、事実と意見を読み分けること、接続語や文末表現に着目しながら読み進めることの大切さを確認させたい。</p> <p>2</p> <p>2 P261の方言に関するスピーチを聞き、学習課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「飲まさる」についてまとめる。 ・「このように」からはじまる段落の言い換え表現を考える。 <p>◇教科書の文章を読ませてもよいが、音声を開かせてメモを取らせたいほうが望ましい。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>→P54「話の構成を工夫しよう」</p> <p>→P121「言葉2 方言と共通語」</p> <p>◇「つなぐ」を読み、紹介や報告をわかりやすく伝える際の工夫について確認するとよい。</p> <p>3</p> <p>3 P262の卒業ソングに関する新聞記事を読み、学習課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の卒業ソングの傾向として挙げられることを、教科書の空欄に書き込む。 ・卒業式でどんな歌を歌ったり聞いたりしたいかを、「条件①」「条件②」に従って書く。 <p>→P64「情報を引用しよう」</p> <p>→P138「根拠を示して説明しよう」</p> <p>◇「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) →曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) →課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) →温暖化による流氷の減少が、環境に与える影響について、網走気象台の観測記録からわかった事実を二つに分けて書いている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) →「……という警告。」で終わる形になるように、筆者の示した情報と自分の考えを結び付けて書いている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) →話すときは、聞き手の反応を踏まえて、伝えたいことが伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →卒業式で歌ったり聞いたりしたい歌について、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠となる事例を挙げて文章を書いている。 <p>【態】今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。</p>	

指導事項配列表（2年）NO.1

指導事項配列表（2年①）				【知識及び技能】																
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項													
				ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	エ	ア							
月	教材	時数																		
4	見えないだけ	1				◎														
	アイスプラネット	4				◎														
	[聞く] 問いを立てながら聞く	1							◎											◎
	季節のしおり 春	-																		
5	1 広がる学びへ																			
	枕草子	3																		◎
	[書く] 自分流「枕草子」を書く	[1]																		
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1											◎							
6	2 多様な視点から																			
	多様な方法で情報を集めよう	5											◎							
	職業ガイドを作る	5											◎							
	漢字1 熟語の構成	1				◎														
7	3 言葉と向き合う																			
	漢字に親しもう1	1				◎														
	クマゼミ増加の原因を探る	4																		◎
	思考のレッスン1 具体と抽象	1																		◎
7	情報社会を生きる																			
	魅力的な提案をしよう	5	◎																	
	資料を示してプレゼンテーションをする	5																		
	漢字に親しもう2	1				◎														
7	3 言葉と向き合う																			
	文法への扉1 単語をどう分ける？	2																		◎
	一文法1 自立語（P234-237）	2																		◎
	メディアを比べよう／メディアの特徴を生かして情報を集めよう／「自分で考える時間」をもとう	3																		
7	3 言葉と向き合う																			
	短歌に親しむ	4																		◎
	[書く] 短歌を作ろう	[2]																		◎
	短歌を味わう	2																		◎
7	読書生活を豊かに																			
	言葉の力	2																		◎
	言葉1 類義語・対義語・多義語	2																		◎
	言葉を比べよう	1																		◎
7	読書生活を豊かに																			
	もっと「伝わる」表現を目ざして	1																		◎
	読書を楽しむ	1																		◎
	翻訳作品を読み比べよう	1																		◎
7	読書生活を豊かに																			
	星の王子さま	1																		◎
	読書コラム「わからない」は人生の宝物	1																		◎
	読書案内 本の世界を広げよう	1																		◎
7	読書生活を豊かに																			
	季節のしおり 夏	-																		

指導事項配列表（2年）NO.2

指導事項配列表（2年②）				【知識及び技能】																		
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項			(2)情報の扱い方に関する事項			(3)我が国の言語文化に関する事項												
指導事項等		教材		時数		<p>ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。</p> <p>イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。</p> <p>ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>オ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。</p> <p>カ 敬語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。</p> <p>キ 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>ク 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。</p> <p>ク ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>ク イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。</p> <p>ク エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。</p> <p>ク イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を考えること。</p> <p>ク ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。</p>																
月		教材	時数																			
9	4 人間のきずな	盆土産	4																			
		字のない葉書	3																			
		聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	1	◎																		
		表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	3	◎							◎											
		[推敲]表現の効果を考える	1								◎											
		言葉2 敬語	1								◎											
10	5 論理を捉えて	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	1			◎	◎															
		漢字に親しもう3				◎																
		モアイは語る——地球の未来	4								◎											
		思考のレッスン2 根拠の吟味	1								◎											
		根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	4								◎											
		漢字に親しもう4	1					◎														
11	6 いにしへの心を訪ねる	[討論]異なる立場から考える	1							◎												
		立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	4							◎											◎	
		音読を楽しもう 月夜の浜辺	1																			
		季節のしおり 秋	-																			
		源氏と平家	1																		◎	
		音読を楽しもう 平家物語																			◎	
12	7 価値を語る	扇的——「平家物語」から	3																		◎	
		仁和寺にある法師——「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう	3	[1]																	◎	
		漢詩の風景	3																			◎
		君は「最後の晚餐」を知っているか	4								◎											
		「最後の晚餐」の新しさ	4									◎										
		魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	2																			◎
読書に親しむ	研究の現場によるこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃/ クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬	漢字に親しもう5	1																		◎	
		文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 →文法2 用言の活用 (P238-243)	2																			◎
		読書案内 本の世界を広げよう																				◎
		季節のしおり 冬	-																			

指導事項配列表（2年）NO.3

指導事項配列表（2年③）				【知識及び技能】																
				(1)言葉の特徴や使い方に関する事項					(2)情報の扱い方に関する事項		(3)我が国の言語文化に関する事項									
				ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ア	イ	エ	ア					
月		教材	時数																	
1	8 表現を見つめる	走れメロス [書く] 作品の魅力をまとめ、語り合おう	6 [1]				◎													
		漢字に親しもう6	1			◎														
文法への扉3 一字違いで大違い →文法3 付属語 (P244-250)		2							◎											
構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く		4							◎											
言葉3 話し言葉と書き言葉		2		◎																
漢字3 送り仮名		2				◎														
2		国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	5						◎			◎								
		木	2				◎													
3	振り返り	学習を振り返ろう	3	◎						◎	◎									
巻末教材	文法・漢字	文法 一年生の復習 文法1 自立語 文法2 用言の活用 文法3 付属語								◎										
		[練習]小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧				◎														

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
 ★対応する言語活動例。
 ・学習経験として蓄積させる。

〔思考力、判断力、表現力等〕						その他
A 話すこと・聞くこと		B 書くこと		C 読むこと		
(1) 指導事項	(2) 言語活動例	(1) 指導事項	(2) 言語活動例	(1) 指導事項	(2) 言語活動例	
イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。	オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	イ 伝えたことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係を明瞭にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 イ それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動。 ア 説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動。	ア 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動。 オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。 エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。 ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ウ 短文や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く活動。 イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。	ウ 本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。 イ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ア 報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。 オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	
	◎		◎	◎	◎	
		◎				
	◎					
		◎				
			◎			
◎	◎	◎	◎	◎	◎	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	<p>見えないだけ 1時間</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 詩を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな言葉や表現をノートに書き写し、その理由をまとめる。 <p>◇言葉や表現が生み出している効果についても確認させる。</p> <p>2 好きな言葉や表現を発表する。</p> <p>◇共感できた考えや自分にはなかった考えをノートにまとめさせる。</p> <p>3 詩の特徴を生かして朗読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞いて考えたことも踏まえて、詩の内容が効果的に伝わるように工夫して朗読する。 	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>→詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。</p> <p>【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>
1 広がる学びへ				
4月	<p>アイスプラネット 4時間</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>→P25 言葉</p> <p>→ 二次元コード (イヌイット)</p> <p>2 「ぐうちゃん」について整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぐうちゃん」の特徴を捉える。(学習①-1) <p>→P24 窓 「登場人物の設定を捉える」</p> <p>→P260 窓 「文学的な文章を読むために」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぐうちゃん」に対する「僕」「母」「父」それぞれの思いがわかる言動や表現を挙げ、それらに込められた思いを考える。(学習①-2) <p>3 「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぐうちゃん」のほら話に対する「僕」の考えの変化を捉える。(学習②-1) 「僕」が「ぐうちゃん」の部屋に二度と行かなかった理由を考える。(学習②-2) 手紙と写真を受け取ったときの「僕」の気持ちを想像する。(学習②-3) <p>◇手紙の文面から「ぐうちゃん」の考えや思いを踏まえさせる。</p> <p>4 「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぐうちゃん」の考え方や生き方について、自分の生活や経験などと比べながら感想をまとめる。(学習③) <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の設定の捉え方について、わかったことを挙げる。 これまでに読んだ作品の一つ取り上げ、登場人物の設定を確認する。 <p>→人物関係図を書いて、関係を整理する。</p>	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>→登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)</p> <p>→「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物関係図にまとめている。</p> <p>【態】積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
4月	<p>[聞く]問いを立てながら聞く 1時間</p> <p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「友達への提案」を聞き、要点をメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠を整理し、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。 <p>→ DVD・二次元コード</p> <p>◇メモを取る際には、小見出し、番号、記号、矢印などを用いて、話の要点や順序を視覚的に整理させるとよい。</p>	<p>【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>→提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいと考える。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>		<p>2 メモを基に、意見や根拠について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内の友達と意見や根拠の適切さについて話し合う。 <p>◇疑問に思うことや確認したいことについて共有させる。</p> <p>3 「上達のポイント」を読み、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見とその根拠について、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞くことができたか。 ・根拠の客観性や、意見と根拠の結び付きを確かめることができたか。 <p>◇意見と根拠の結び付きの適否を判断した理由を意識させるとよい。</p>	<p>しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p> <p>→提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) <p>→意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。</p> <p>【態】 進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。</p>
4月	<p>季節のしおり 春</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいと考える。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<ul style="list-style-type: none"> ・春の行事・暦に関わる言葉や、春の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 <p>◇P73「短歌を作ろう」、P114「表現を工夫して書こう」、P216「構成や展開を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇春をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p>→作品中の「春」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>
5月	<p>枕草子</p> <p>【書く】 自分流「枕草子」を書こう</p> <p>3時間(読②書①)</p> <p>◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいと考える。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を調べる。 ・現代語訳を参考に情景を想像し、古文を朗読する。 <p>→DVD・二次元コード</p> <p>◇心に残った季節の一節を暗唱させてもよい。</p> <p>◇関連図書や映像メディアを活用するとよい。</p> <p>2 作者のものの見方や感じ方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭を読み、作者が四季のどんなところに趣を感じているのかを整理し、自分が感じる四季の趣と比べる。 ・P30の章段を読み、作者が「何」の「どんな」様子を「どう」感じているのかについて整理する。 <p>◇P31コラム「枕草子」を参考にしながら、「枕草子」の特徴を捉えさせる。「徒然草」の学習と関連させてもよい。</p> <p>→P158「仁和寺にある法師」</p> <p>3 自分流「枕草子」を書く。</p> <p>→P31「自分流『枕草子』を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」の形を借りて、自分ならではの季節感を表す文章を400字程度で書く。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方や考え方について、印象に残っているものを、理由と共に挙げる。 	<p>【知・技】 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ)</p> <p>→現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) <p>→作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) <p>→生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。</p> <p>【態】 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)</p>		<p>・自分ならではの季節感を表す文章を書き、友達と読み合って、感想をまとめる。</p> <p>◇自他の季節の捉え方の共通点や相違点を明らかにしながら感想をまとめさせる。</p>	
5月	<p>情報整理のレッスン 思考の視覚化 1時間</p> <p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。</p> <p>◇「観点」、「階層」、「軸」などの用語を理解させ、今後の学習に生かせるようにしておくとうよい。</p> <p>2 問題1～3に取り組む。</p> <p>◇生徒は文章で書いてしまうことが多い。キーワードや短い表現を使うように促す。</p> <p>◇視覚的にわかりやすくなるように、付箋や色ペンなどを準備して使わせてもよい。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <p>・情報を書き出して整理し、関係を図で表す四つの方法についてポイントを確認する。</p>	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) →問題1～3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。</p>
5月	<p>多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る 5時間</p> <p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 調べる職業を決め、情報を集める。</p> <p>・調べてみたい職業を決める。</p> <p>・その職業について知りたい項目や内容を挙げ、それらに適した調べ方を考えて、多様な方法で情報を集める。</p> <p>◇図書館や資料館、インターネット、インタビューなど、多様な情報収集の方法を考えさせる。</p> <p>◇複数の情報源で調べる、出典を明らかにするなど、既習事項を想起させる。</p> <p>→P26「問いを立てながら聞く」 →P37^窓「多様な情報を集め、考えをまとめるには」 →P271^窓「インタビューをする」</p> <p>2 集めた情報を分類・整理する。</p> <p>・複数の情報源から集めた情報を、図や記号、表などを用いて分類・整理する。</p> <p>→P32「思考の視覚化」</p> <p>・目的に合った情報を精査し、取捨選択する。</p> <p>3 紙面構成を考える。</p> <p>◇見出しや文章、図・表・グラフ、写真などの配置を工夫させる。</p> <p>4 下書きし、紙面を作る。</p> <p>・下書きをして、推敲し、清書する。</p> <p>◇見出しを付け、簡潔な文章にするよう留意させる。</p> <p>5 完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>・作品を読み、まとめ方や情報の活用のしかたでよいと思った点や、感想を伝え合う。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・どのような方法を用いて、情報を集めたか。</p> <p>・集めた情報をどのように整理したか。</p> <p>◇P35「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) →集めた情報を表や図にまとめ、整理している。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。</p> <p>【態】粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
5月	漢字 1 熟語の構成 漢字に親しもう 1 1時間 ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 ◇生徒に身の回りにある熟語を挙げさせ、その構成を説明させてもよい。 2 練習問題に取り組む。 3 P40「漢字に親しもう1」に取り組む。 →P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298[資]「二年生で学習した漢字」 →P313[資]「二年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ◇P251「[練習] 小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。	【知・技】 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) →熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
2 多様な視点から				
5月	クマゼミ増加の原因を探る 4時間 ◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)オ) ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →P51[言葉]	【知・技】 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ) →文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア) →筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解している。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ) →文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 【態】 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
2	2 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 ・「研究のきっかけ」に示された文章全体に関わる問題提起と、それに基づく大きな仮説を確かめる。(学習①-1) ・「前提」に書かれた内容を確かめ、筆者が三つの仮説の前に、この部分を置いた理由を考える。(学習①-2) ・線や矢印を使って六つの部分の関係を整理する。(学習①-3)	2	2 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 ・「研究のきっかけ」に示された文章全体に関わる問題提起と、それに基づく大きな仮説を確かめる。(学習①-1) ・「前提」に書かれた内容を確かめ、筆者が三つの仮説の前に、この部分を置いた理由を考える。(学習①-2) ・線や矢印を使って六つの部分の関係を整理する。(学習①-3)	
3	3 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 ・三つの仮説に対する検証の内容とその結果を、それぞれ文章中の言葉を用いて簡潔にまとめる。(学習②-1) ・グラフや模式図、写真などを示した筆者の意図を、それに対応する文章との関係を基に考える。(学習②-2) ◇図表を示す目的や効果について考えさせる。 →P50[窓]「文章と図表を結び付けて読む」 →P262[資]「説明的な文章を読むために」 ・「研究のきっかけ」に示された大きな仮説は証明されたといえるか、「まとめ」を読んで自分の考えを説明する。(学習②-3)	3	3 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 ・三つの仮説に対する検証の内容とその結果を、それぞれ文章中の言葉を用いて簡潔にまとめる。(学習②-1) ・グラフや模式図、写真などを示した筆者の意図を、それに対応する文章との関係を基に考える。(学習②-2) ◇図表を示す目的や効果について考えさせる。 →P50[窓]「文章と図表を結び付けて読む」 →P262[資]「説明的な文章を読むために」 ・「研究のきっかけ」に示された大きな仮説は証明されたといえるか、「まとめ」を読んで自分の考えを説明する。(学習②-3)	
4	4 考えたことを話し合う。 ・筆者が検証によって否定された仮説を挙げた理由や三つの仮説をこの順序で並べた理由を考え、グループで話し合う。(学習③)	4	4 考えたことを話し合う。 ・筆者が検証によって否定された仮説を挙げた理由や三つの仮説をこの順序で並べた理由を考え、グループで話し合う。(学習③)	
5	5 学習を振り返る。 ・「科学的な根拠を一步一步積み上げて読む」筆者の姿勢は、どんなところに表れているかを考える。 ・文章の構成や図表の使い方の中で、効果的だと感じたものを挙げる。	5	5 学習を振り返る。 ・「科学的な根拠を一步一步積み上げて読む」筆者の姿勢は、どんなところに表れているかを考える。 ・文章の構成や図表の使い方の中で、効果的だと感じたものを挙げる。	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)			
6月	文法への扉 1 単語をどう分ける？ 2時間 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 P59の導入や解説を読み、単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 P234文法1「自立語」を読み、自立語の各品詞の性質などについて理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 ・P234下段「話すこと・書くことに生かす」を読み、ここでの学習を今後の学習に生かせるようにする。	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ →自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
情報社会を生きる				
6月	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう 3時間(読①書②) ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理することができる。(思・判・表B(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ) ★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 メディアを比べて、特徴を理解する。 ・P60-61に示されたさまざまなメディアを「速報性」「詳細さ」「信頼性」の三つの観点で比較し、その根拠を話し合う。 ◇教科書の例を参考に、メディアによって情報量や配信日時に違いがあることに気づかせる。 ・話し合ったメディアの特徴と根拠を、表や図などにまとめる。 →P32「思考の視覚化」 2 目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 ・P62「やってみよう」に取り組む。 ・大きな災害を想定し、状況に応じてどのようなメディアを選ぶとよいかを考える。 ◇東日本大震災において、通信や出版設備に被害が出たことに触れ、状況に応じて使用できるメディアに制約があることを理解させる。 3 情報の受け取るときの留意点を考える。 ・P64『「自分で考える時間」をもとう』を通読する。 ・ニュースがどのように編集されているかについて、具体例(編集の例①～③)を基に考える。 →DVD・二次元コード ◇どんな情報も、発信者によって編集されたものであることを理解させる。 4 学習を振り返る。 ・メディアから適切な情報を得るためには、どのような方法で、何を確認すべきか、わかったことをまとめる。 ・自分が今後、メディアから情報を得る際に意識していきたいと思うことを伝え合う。	【知・技】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ →情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) →適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) →同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理している。(B(1)ア) →目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。 【態】 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3 言葉と向き合う				
7月	<p>短歌に親しむ 短歌を味わう 【書く】短歌を作ろう 4時間(読②書②)</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 P68「短歌に親しむ」を通読し、短歌を朗読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・情景を想像しながら、短歌を声に出して読む。(学習①)</p> <p>2 短歌についてまとめる。 ・短歌の特徴についてまとめる。(学習②-1) ・本文中から、筆者のものの見方や感じ方がよく表れている表現を抜き出す。(学習②-2) ・好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書く。(学習②-3)</p> <p>2 3 P72「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。 ◇グループごとに一首ずつ担当したり、グループの中で各人が一首ずつ担当したりするなど、状況に合わせて活動させる。</p> <p>3-4 4 P73「短歌を作ろう」に取り組む。 ・目にした情景、心に残る出来事や感動したことなど、題材を探して短歌を作る。 →P12「続けてみよう」 ・自他の短歌を比較して、表現の特徴や効果について話し合う。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・どのようなことに着目して、短歌を読み味わったか。 ・短歌の創作において、心情や情景などを伝えるために、どのような工夫をしたか。</p>	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) →情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) →複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) →好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) →自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考に短歌を作っている。</p> <p>【態】進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。</p>
7月	<p>言葉の力 2時間</p> <p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>2 文章を要約して、内容を捉える。(学習①) ・三つのまとまりに分け、それぞれの内容を要約する。</p> <p>2 3 筆者の考え方について話し合う。 ・「言葉の世界での出来事と同じこと」とあるが、何と何が、どのように同じだと述べているのかを考える。(学習②-1) ・美しい言葉、正しい言葉に対する筆者の考え方について、自分はどのように考えるか、話し合う。(学習②-2) ◇自分の知識や経験と結び付けて考えさせる。</p> <p>4 学習を振り返る。 ・自分の考えを広げたり深めたりするために、今後、本や文章をどのように読んでいきたいかを考える。</p>	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ) →言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) →言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。</p> <p>【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 (思・判・表C(2)イ)			
7月	言葉1 類義語・対義語・多義語 2時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性について興味をもつ。 2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。 ・例を基にして、それぞれの語がどのような関係にあるのかを考える。 ◇類義語には、意味が微妙に違うものや、意味は同じでも語感が違うものがあることに気づかせるとよい。 ・「生活に生かす」を読み、言葉の幅を広げるのに、類義語・対義語に注目するとよいことを知る。 ◇P296窓「語彙を豊かに」を参考にしてもよい。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) →類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。
7月	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現をみざして 1時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 言葉を分類して、類義語を集める。 ・教科書にある言葉を、「具体的な物や事柄を表す言葉」と「抽象的な概念を表す言葉」に分類する。 ・「抽象的な概念を表す言葉」から一つ選び、類義語を集める。 ◇国語辞典や類語辞典を参考にさせるとよい。 →P296窓「語彙を豊かに」 2 類義語を比較し、わかったことを話し合う。 ・集めた類義語を使って文を作り、そこからわかった違いをまとめる。 ◇意味や使い方の微妙な違いに気づかせるとよい。 3 P81「対義語を考える」に取り組む。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) →抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
読書生活を豊かに				
7月	読書を楽しむ 1時間 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 2 「本の紹介合戦」、「読書ポスター」、「本のリスト」の中から、夏休みに行く活動を選ぶ。 ◇学校や地域の状況に応じて活動を決めてもよい。 3 活動の内容に沿って、見通しを立てる。 ・本の紹介合戦は、読書記録を基に本を決め、その魅力が伝わるような紹介のしかたを考える。 ・読書ポスターは、グループでテーマを決め、それに合った本を選ぶ。 ・読書記録は記録のしかたを確認する。 ◇教材文を基に、手順やポイントなどを示した活動計画書を用意し、配布するとよい。 4 グループごとに活動を行い、感想を発表し合う。 ◇教室ではなく、学校図書館で授業を展開することも考えられる。 ◇次時の「翻訳作品を読み比べよう」と合わせて指導することも考えられる。	【知・技】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) →活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。 【態】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	<p>翻訳作品を読み比べよう</p> <p>星の王子さま</p> <p>読書コラム</p> <p>「わからない」は人生の宝物</p> <p>読書案内 本の世界を広げよう</p> <p>1時間</p> <p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翻訳の違いによる作品の印象の違いについて考え、発表し合う。 ◇人物の言動や様子が描かれた表現を基に、人柄や心情の違いを捉えさせる。 <p>2 翻訳や外国文学について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「星の王子さま」や読書コラムを読み、「翻訳」の意味や、翻訳作品・外国文学のおもしろさについて理解する。 ◇学校図書館から本を借りてきて、実物を見せることなども考えられる。 <p>3 P87「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。</p> <p>→P274【窓】「形」</p> <p>→P277【窓】「生物が記録する科学——バイオロギングの可能性」</p>	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)</p> <p>→翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) →二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) →これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。 <p>【態】進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。</p>
7月	<p>季節のおしり 夏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(主体的に学習に取り組む態度) 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇P73「短歌を作ろう」、P114「表現を工夫して書こう」、P216「構成や展開を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。 ◇夏をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。 	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p> <p>→作品中の「夏」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準	
4 人間のきずな					
9月	盆土産 4時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →P105 言葉	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ →登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。 【思・判・表】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) →登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。 【態】 粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。	
2	2 作品の構成を捉える。 ・それぞれの場面に描かれた内容を、「時・場所・出来事」の観点でノートに整理する。(学習①)	3	3 登場人物の言動の意味を考える。 ・人物の言動や様子を描いた表現から読み取れる、人柄や心情について考える。(学習②-1) ◇登場人物の言動が話の展開や作品の印象にどう関わっているか考えさせるとよい。また、描かれていない言動も想像して考えさせるとよい。 →P104 窓 「登場人物の言動の意味を考える」 →P260 窗 「文学的な文章を読むために」 ・作品中の「えびフライ」「えんびフライ」という語について、それぞれ話し手のどんな心情が込められているか発表する。(学習②-2)		4
9月	字のない葉書 3時間 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →P111 言葉 2 二つの思い出を整理する。 ・二つの思い出の内容を整理する。(学習①-1) ・筆者がこの随筆を書いた時点を、叙述を基に考える。(学習①-2) ◇必要に応じて、時代状況を解説する。既習の1年「大人になれなかった弟たちに……」を想起させてもよい。	【知・技】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ →表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。 【思・判・表】 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) →前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。 【態】 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
2	3 表現に着目して、人柄や心情について読み取る。 ・前半部分の思い出から想像される父親の人柄を、文章中の表現を踏まえてまとめる。(学習②-1) ・妹に対する家族の心情を、妹の行動や様子の変化に着目して想像する。(学習②-2) ・なくなった父親に対して、今の「私」がどんな思いを抱いているか、表現に即して考える。(学習②-3) ◇前半と後半で、心情や人柄の描かれ方にどんな違いがあるかを考えさせるとよい。 →P110 窓 「表現の効果を考える」 →P260 窗 「文学的な文章を読むために」				

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
		3	<p>4 父親に対する「私」の思いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が共感できることや共感しにくいと思うことを発表し合う。(学習③) <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半と後半で、表現のしかたにどんな違いがあったか、自分の言葉でまとめてみる。 ・随筆をより深く味わうためには、どんな点に着目して読むとよいか、友達と考えを交流する。 	
9月	<p>聞き上手になるう 質問で思いや考えを引き出す 1時間</p> <p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 インタビューの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、役割を理解し、「今、夢中になっていること」や「私が輝く瞬間」をテーマに、インタビューの準備を行う。 ◇「話し手としての準備」、「聞き手としての準備」の両方をさせる。 <p>2 インタビューを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例を参考に、思いや考えを引き出すためにどのように質問したらよいかを考える。 →DVD・二次元コード →P112窓「質問で思いや考えを引き出すには」 →P271窓「インタビューをする」 ・「話し手」、「聞き手」、「聴衆」の役割を交代しながら、インタビューを行う。 ◇聞き手と聴衆で話しやすい雰囲気を作り出すようにする。 <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し手」、「聞き手」、「聴衆」それぞれの立場から、気づいたことや考えたことを出し合う。 	<p>【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)</p> <p>→どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) →話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。 <p>【態】粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。</p>
9月	<p>表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く 3時間</p> <p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 手紙と電子メールを比較し、活用場面を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例を参考に、手紙と電子メール、それぞれの特徴を表にまとめる。 ◇比較する観点を明確にさせるとよい。 →P272窓「いろいろな通信文」 <p>2 伝えたい内容を決め、通信手段を選ぶ。</p> <p>2-3</p> <p>3 手紙や電子メールを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信文を書き、気持ちや用件が伝わったかどうかを互いに伝え合う。 ◇相手や目的に応じて敬語を用いる、気持ちや用件が伝わるように具体例を入れるなど、表現の工夫をさせる。 →P114窓「通信文(手紙・電子メール)を書くときには」 →P116「表現の効果を考える」 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、言葉遣いをどのように気をつけたか。 ・通信手段をどのような観点で選んだか。 ・気持ちや用件が伝わるように、どんな点に注意したか。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) →何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けられるかを考えている。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) →相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。 <p>【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>→自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。</p> <p>【態】積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書くとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	<p>【推敲】表現の効果を考える 1時間</p> <p>◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 木本さんの手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に書き改める。</p> <p>2 ……線部⑦について、より効果的な表現を考える。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <p>・どのような点に着目して、手紙を推敲したか。</p>	<p>【知・技】 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) →手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。</p> <p>【思・判・表】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) →読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがいよるような表現に書き改めている。</p> <p>【態】 粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。</p>
9月	<p>言葉2 敬語 1時間</p> <p>◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 導入の例文を読み、敬語の使い方について考える。</p> <p>2 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。</p> <p>3 教材文を読み、敬語の組み合わせについて考える。 ◇P119「生活に生かす」を読み、実際の生活場面で敬語を使うときの注意点について考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) →敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。</p> <p>【態】 今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。</p>
10月	<p>漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3 1時間</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 教材文を読み、同じ訓をもつ漢字の使い分けについて理解する。</p> <p>2 教材文を読み、同じ読みで意味の異なる言葉(同音異義語)の使い分けについて理解する。</p> <p>3 P121の練習問題とP122「漢字に親しもう3」に取り組む。 →P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298【資】「二年生で学習した漢字」 →P313【資】「二年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ◇P251「[練習] 小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 ◇辞書などを使って、生徒自身に問題を作らせて、解き合ってみることなども考えられる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) →文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) →同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。 <p>【態】 学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
5 論理を捉えて				
10月	モアイは語る ——地球の未来 4時間 ◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の構成や論理の展開について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を生活に役立て，我が国の言語文化を大切にしたいと考えることを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★報告や解説などの文章を読み，理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめる。(思・判・表C(2)ア)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し，学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →P131「言葉」	【知・技】 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し，その根拠が適切かを吟味している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開について考えている。(1)エ) →文章全体の構成を捉え，意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)オ) →自分の知識や体験と重ね，筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。 【態】 粘り強く論理の展開について考え，学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
2	2 文章の構成に着目し，内容を捉える。 ・文章全体を序論・本論・結論に分ける。(学習①-1) ◇筆者の主張が書かれている段落(結論)を見つけ，その主張を支えるために序論と本論があることを押さえるとよい。 ・筆者が序論で示している問いと，それに対する答え，また，答えの根拠として挙げられている事実を要約し，表にまとめる。(学習①-2)	3	3 論理の展開を吟味する。 ・筆者が考えるイースター島と地球との共通点を読み取る。(学習②-1) ・イースター島の事例を示した理由について，筆者の主張との関係に着目して考える。(学習②-2) ・「モアイの秘密」を解き，それを基に地球の未来を語る筆者の論理の展開について，「効果」や「説得力」という観点から話し合う。(学習②-3) →P130「窓」「論理の展開を吟味する」 →P262「窓」「説明的な文章を読むために」	
4	4 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。 ・筆者の主張に対する自分の考えを，自分の知識や体験と重ねて200字程度でまとめる。(学習③) 5 学習を振り返る。 ・「モアイ」は何を語っているのか，「モアイ」「歴史」「未来」の三つの言葉を使って，端的に説明する。 ・論理の展開を捉えるとき，どのような点に着目すると効果的か，自分の言葉で説明する。			
10月	思考のレッスン2 根拠の吟味 1時間 ◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を生活に役立て，我が国の言語文化を大切にしたいと考えることを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を読み，根拠を吟味する方法を理解する。 ◇P132に示されているような事例が身の回りにないか，考えさせてもよい。 2 問題1，2に取り組む。 ◇P133のチェックポイントで，根拠を吟味する観点を押さえるとよい。 3 学習を振り返る。 ・文章を読んだり，相手の話を聞いたりするときには，根拠を把握し，その根拠に説得力があるかどうかを吟味することが大切だということを確認する。	
10月	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く 4時間 ◎意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果をj考えて描写したりするな	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し，学習の見通しをもつ。 1 課題を決め，分析する。 ・社会生活の中から課題を決める。 →P12「続けてみよう」 →P268「発想を広げる」 ・表などを使い，観点ごとに長所と短所をまとめる。 →P34「多様な方法で情報を集めよう」 ・友達どうしで整理した内容を見せ合い，助言し合う。	【知・技】 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。 【思・判・表】 「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果をj考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>ど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	2 3 4	<p>2 立場を決めて考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成・反対の立場を決め、意見を支える根拠を考える。 <p>→P132「根拠の吟味」</p> <p>3 反論を想定して、構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反論を想定して、それに対する意見を考える。 ・P136「構成のしかた」「構成メモ」を参考に、意見と根拠、反論に対する意見を書く順序を考え、構成メモを作る。 <p>◇双括弧を理解させ、「意見→根拠→反論に対する意見→意見のまとめ」の順で構成させる。</p> <p>→P136「窓」「明確な意見文を書くには」</p> <p>4 意見文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P136「意見文の例」を参考に、下書きをし、推敲して600字から800字程度でまとめる。 <p>5 意見文を友達と読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠の適切さについて、説得力があると思ったところや改善点を伝え合う。 <p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠の適切さを考えたか。 ・自分の意見が明確に伝わるように、文章の構成を工夫したか。 <p>◇P135「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>→根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。</p> <p>【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p>
10月	<p>漢字に親しもう 4</p> <p>1時間</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 新出漢字を確認する。</p> <p>2 練習問題に取り組む。</p> <p>→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」</p> <p>→P298「窓」「二年生で学習した漢字」</p> <p>→P313「窓」「二年生で学習した音訓」</p> <p>◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</p> <p>◇P251「[練習] 小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。</p>	<p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>→文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
10月	<p>[討論]異なる立場から考える</p> <p>1時間</p> <p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 テーマに沿って集められた①～⑧の事実を読む。</p> <p>2 賛成・反対それぞれの立場の人が、①～⑧を基にどんな意見を述べるのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの情報が、賛成・反対どちらの根拠にもなり得ることを理解する。 <p>◇例で示された⑥以外の情報(事実)を根拠にして、賛成・反対の意見を考えさせることもできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ観点でも、根拠とする情報により異なる意見になり得ることを理解する。 <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場の人の意見を想定して、どんなことに気づいたか。 	<p>【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる①～⑧の事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)</p> <p>→同じ情報を基にしたり、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気づいている。</p> <p>【態】進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
11月	季節のしおり 秋 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	-	・秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇P73「短歌を作ろう」、P114「表現を工夫して書こう」、P216「構成や展開を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。 ◇秋をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ →作品中の「秋」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
6 いにしえの心を訪ねる				
11月	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 1時間 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 「源氏と平家」の資料を読み、「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。 2 「平家物語」の概要と文章の特徴を知る。 3 冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。 → DVD・二次元コード ・歴史的仮名遣いに注意して正しく読む。 4 冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。 5 作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。 ◇漢語を交えた七五調のリズムを意識して暗唱することもできる。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ →冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。 【態】 進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。
11月	扇的 — 「平家物語」から 3時間 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・歴史的仮名遣いの読み方を確認する。 2 「平家物語」の冒頭部分と「扇的」を繰り返し朗読する。(学習①) → DVD・二次元コード ◇古典の文章独特の調子や響きに気づかせるとよい。 3 登場人物の言動から、心情を考える。 ・与一、見守る源氏の武士たち、義経の思いをそれぞれの言動から考え、話し合う。(学習②-1) ・「あ、射たり。」と言った人と、「情けなし。」と言った人の気持ちについて話し合う。(学習②-2) ◇P156「弓流し」の場面も合わせて読み、義経の言動から武士の考え方を捉えさせる。 3 4 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。 ・「扇的」に登場する人物たちの言動から読み取ったものの見方や考え方について、自分の考えを述べる。(学習③) ◇登場人物の言動を文章から引用して、考えたことを伝えさせるとよい。 ◇P284 窗 「敦盛の最期」を読んで、武士の生き方や価値観などを捉えさせてもよい。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ →与一や義経の言動、扇的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 【思・判・表】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) →「扇的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 【態】 進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
			<p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章の調子やリズムについて、どんなことを感じたかを発表する。 ・登場人物の言動から、どのようなものの方や考え方を読み取ったか、まとめたものを見返す。 	
11月	<p>仁和寺にある法師 ——「徒然草」から 【書く】人物の特徴を捉えて論じよう 3時間（読②書①）</p> <p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★多様な考えがでる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 全文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・歴史的仮名遣いの読み方を確認する。 <p>→P160「係り結び」</p> <p>2 「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。(学習①)</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>2 3 本文を読み、内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法師の勘違いの内容を、原文やP159の図を使って説明する。(学習②-1) ・法師の勘違いについて、作者がどのように捉えているかを原文から考える。(学習②-2) <p>◇P288【資】「家のつくりやうは」を読み、作者のものの見方や考え方について、さらに理解を深めさせてもよい。</p> <p>4 法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。(学習③)</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことに気をつけて文章を朗読したかを発表する。 ・作者のものの見方や考え方について、感じたことをまとめる。 <p>3 6 人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P161「人物の特徴を捉えて論じよう」を読み、手順を確かめる。 ・「扇の的」や「仁和寺にある法師」の登場人物の中から、論じる人物を決める。 ・選んだ人物の特徴を捉えて、人物像を300字程度で論じる。 <p>7 文章を友達と読み合い、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の登場人物の特徴をわかりやすく伝えられるように、文章の構成を工夫したか。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3ア) →古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの方や考え方を知っている。(3イ) →現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) →法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) →文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。 <p>【態】積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。</p>
11月	<p>漢詩の風景 3時間</p> <p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 全文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>◇返り点や訓読のしかたを振り返るとよい。</p> <p>2 漢詩の特徴を生かして朗読する。(学習①)</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>◇漢詩特有の言葉遣いや調子に着目させるとよい。</p> <p>2 3 解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。(学習②)</p> <p>◇三編の漢詩に歌われている季節、情景、作者の心情を捉えさせるとよい。</p> <p>3 4 好きな漢詩を選び、その理由を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三編の漢詩から、自分の好きな一編を選び、気に入った表現や句を抜き出す。(学習③-1) ・抜き出した表現や句を引用して、その漢詩を好きだと思った理由を述べる。(学習③-2) 	<p>【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3ア) →漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) →好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果伝え合っている。</p> <p>【態】進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)		◇P168「律詩について」を読み、絶句と律詩の違いを理解させる。好きな漢詩を選ぶ際、教材の三つの漢詩に「春望」を加えることもできる。 5 学習を振り返る。 ・漢詩特有の言葉遣いや調子が感じられる部分を発表する。 ・それぞれの漢詩から、どんな情景や心情を読み取ったか、話し合う。	
7 価値を語る				
12月	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 4時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	1-2 3 4	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →P183「言葉」 2 「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容を捉える。 ・「最後の晩餐」(P173, 174)の図版と本文を結び付けて読み、「解剖学」「遠近法」「明暗法」が使われているところを理解する。(学習①-1) ・筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と思った理由について、文章中の言葉を使って簡潔にまとめる。(学習①-2) 3 文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。 ・観点を決めて「君は『最後の晩餐』を知っているか」と『最後の晩餐』の新しさを比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を確認する。(学習②-1) ・文章の構成や表現の特徴について、比較を通して発見したことを発表する。(学習②-2) →P182「窓」「観点を明確にして文章を比較する」 →P262「窓」「説明的な文章を読むために」 4 考えたことを文章にまとめる。(学習③) ・筆者がなぜこのような書き方を選んだのか、目的や意図と結び付けて考える。 ・文章の構成や表現が、文章全体にどのような印象を与えているかを考える。 5 学習を振り返る。 ・比較によって初めて気づいたことや理解が深まったことを踏まえて、文章を比較することの効果友達に報告する。 ・二つの文章に使われていた構成や表現のいずれかを取り入れ、自分が好きな作品について論じる。 ◇P183「言葉を広げる」で書き留めた「評価する時に使える言葉」を生かすこともできる。	【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) →筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい」(抽象)と述べているのかを理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) →二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) →二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) →文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。
12月	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 2時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を鑑賞する。 ・作品を鑑賞し、魅力を一文で表す。 ・根拠となる具体的な特徴、感じたこと・想像したことを付箋などに書き出す。 ◇P185「美術作品を鑑賞するときの観点」「感じたことを表す言葉」を用いて鑑賞させることもできる。 2 表現の効果を考える。 ◇作品をじっくりと見て、書き出した付箋を見直し、よりよい語句や表現、それらの効果を考えるとよい。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) →作品の魅力を伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよ

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	2	<p>→P184窓「作品の魅力を効果的に伝えるには」</p> <p>3 鑑賞文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して、200字程度で書く。 ◇作品を知らない人が具体的にイメージでき、作品を見たいと思うような文章であるかという視点をもって推敲させるとよい。 <p>4 文章を読み合い、意見交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇鑑賞する作品を同じにすると、互いの鑑賞文が比較しやすく、自分の表現の改善点も見いだしやすくなる。 <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の魅力が伝わるように、言葉や表現をどのように工夫したか。 	<p>うに工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>→作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) <p>→友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。</p> <p>【態】進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。</p>
12月	<p>漢字に親しもう5</p> <p>1時間</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 新出漢字を確認する。</p> <p>2 練習問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> →P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298窓「二年生で学習した漢字」 →P313窓「二年生で学習した音訓」 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ◇P251「[練習] 小学校六年生で学習した漢字」にあわせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 	<p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>→文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
12月	<p>文法への扉2</p> <p>走る。走らない。走ろうよ。</p> <p>2時間</p> <p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1-2	<p>1 P187の導入や解説、P238文法2「①活用」を読み、「活用」の意味や用語について理解する。</p> <p>2 P239文法2「②用言の活用 1 動詞の活用」を読み、動詞の活用について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段の練習問題に取り組む、理解の程度を確かめる。 <p>3 P241文法2「②用言の活用 2 形容詞・形容動詞の活用」を読み、形容詞・形容動詞の活用について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段の練習問題に取り組む、理解の程度を確かめる。 	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ)</p> <p>→用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。</p>
読書に親しむ				
12月	<p>研究の現場によこそ</p> <p>日本に野生のゾウやサイがいた頃</p> <p>クモの糸でバイオリン</p> <p>読書案内 本の世界を広げよう</p> <p>1時間</p> <p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれている</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「研究の現場によこそ」を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇二次元コードで、教科書に掲載されている文章の続きや、他の研究者のインタビュー記事を読めることを伝え、読書を促すとよい。 →二次元コード 	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)</p> <p>→教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>ることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p> <p>★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)</p>		<p>2 「クモの糸でバイオリン」を通読する。 ◇実物の本を提示したり、学校図書館に置いたりすることで、生徒が本を手に取りやすくなる。</p> <p>3 感想を伝え合う。 ・教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、初めて知ったこと、興味をもったこと、疑問に思ったことなどを伝え合う。</p> <p>4 P191「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。 →P274【窓】「形」 →P277【窓】「生物が記録する科学——バイオロギングの可能性」</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) →教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。</p> <p>【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。</p>
12月	<p>季節のしおり 冬</p> <p>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<p>・冬の行事・暦に関わる言葉や、冬の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇P73「短歌を作ろう」、P114「表現を工夫して書こう」、P216「構成や展開を工夫して書こう」などの資料として用いてもよい。 ◇冬をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) →作品中の「冬」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
1月	文法への扉3 一字違いで大違い 2時間 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(知・技(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1-2	1 P215の導入や解説を読み、付属語の働きについて考える。 2 P244文法3「①付属語」を読み、付属語の種類について理解する。 3 P244文法3「②付属語の種類 1 助動詞」を読み、助動詞の働きについて理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 4 P246文法3「②付属語の種類 2 助詞」を読み、助詞の種類と働きについて理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(1)オ) →助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
2月	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 4時間 ◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)オ) ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。 ・作品の設定や構成、登場人物の心情の変化について確かめる。 ◇物語を書くときに、どんな点を生かしたいかを考えながら振り返らせるとよい。 2 題材を考える。 ・生活を振り返り、取り上げたい「ある日」を選ぶ。 →P12「続けてみよう」 →P73「短歌を作ろう」 2 3 物語の設定とあらすじを考える。 3 4 構成や展開を工夫して物語を書く。 ・P218「構成の例」を参考に、起承転結の流れで構成する。 ・場面の展開が明確になるように工夫しながら、600字程度の物語を書く。 ◇登場人物の呼称を一人称、三人称のどちらかに決め、書き手の視点を貫かせる。 →P218窓「構成を工夫して物語を書くには」 →P116「表現の効果を考える」 4 5 友達を書いた物語を読み、助言し合う。 ◇評価の観点を示したワークシートなどを用意し、それに基づいて交流させるとよい。 6 学習を振り返る。 ・これまでに学習した物語や小説を振り返るとき、どんなところに着目したか。 ・場面の展開が明確になるように、どんなところを工夫したか。 ◇P217「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。	【知・技】 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ) →これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) →起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) →書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。 【態】 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
2月	言葉3 話し言葉と書き言葉 2時間 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 導入の例文から、話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 ◇学校生活の話題を、簡単な話し言葉と書き言葉で表現してその違いに気づかせるとよい。 →P182窓「観点を明確にして文章を比較する」 2 2 音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。 ・同音異義語の伝え方を理解する。(話し言葉) ・漢字、平仮名、片仮名、句読点、常体・敬体の使い方に注意する。(書き言葉) ◇P221「書くことに生かす」を用いて、聞き取った内容を文章で伝える学習につなげることもできる。	【知・技】 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ) →話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。 【態】 今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
2月	<p>漢字3 送り仮名</p> <p>2時間</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1 2	<p>1 導入の例から、送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。</p> <p>2 教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。</p> <p>3 P223の練習問題に取り組む。 ◇「活用語尾」などについて、P238文法2「用言の活用」で確認させる。 ◇教材の語以外に、間違えやすい送り仮名にはどのようなものがあるかを考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) →送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。</p>
2月	<p>国語の学びを振り返ろう</p> <p>テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る</p> <p>5時間(話聞②書③)</p> <p>◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1 2 3-4 5	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 グループで話し合い、壁新聞のテーマを決める。 ・1年間のできるようになったことや考え方が変わったことを出し合う。 →P34「多様な方法で情報を集めよう」 ・自分たちの変化から「国語を学ぶ意義」を考え、グループで壁新聞のテーマを一つに決める。 ◇P6「学習の見通しをもとう」を開いて学習した内容を振り返らせるとよい。 →P112「聞き上手になろう」 →P140「立場を尊重して話し合おう」</p> <p>2 壁新聞の内容を話し合う。 ・内容と割り付け、必要な写真や図を話し合う。</p> <p>3 壁新聞を作る。 ・分担して、記事の下書きをする。 ◇新聞にまとめることを意識させ、結論を見出しに、詳細を本文に書かせる。 ・下書きを推敲し、記事を清書する。 →P116「表現の効果を考える」 →P226窓「考えたことをわかりやすく伝えるには」</p> <p>4 壁新聞を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・1年間の学習を振り返り、国語を学ぶ意義を見いだすことができたか。 ・伝えたいことをどのように壁新聞にまとめたか。 ◇P225「つなぐ」を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ) →結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) →壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) →壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。 「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) →伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) →読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。 <p>【態】粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3月	<p>木</p> <p>2時間</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見直しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見直しをもつ。</p> <p>1 詩を通読する。</p> <p>2 詩の中の印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたかを話し合う。(学習①)</p> <p>3 表現の意味を考える。</p> <p>・第三連の「木は囁いているのだ」「歩いているのだ」「走っているのだ」は、木のどのような様子を表しているかを考える。(学習②-1)</p> <p>◇擬人法の効果を考えさせる。</p> <p>・作者の考える「愛」や「正義」がどんなものなのかを考える。(学習②-2)</p>	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p> <p>→「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p> <p>→自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。</p> <p>【態】進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。</p>
		2	<p>4 作者のものの見方について語り合う。(学習③)</p> <p>・「ぼく」が「木」のことを、これほど好ましく思っている理由を考える。</p> <p>・詩の中で「木」と対比されているものについて考える。</p> <p>◇詩から読み取った作者のものの見方について、自分のこれまでの知識や経験と結び付けて考えさせるとよい。</p>	

振り返り				
3月	<p>学習を振り返ろう</p> <p>3時間(読①話聞①書①)</p> <p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)</p> <p>◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効</p>	1	<p>1 P256の小説を読み、学習課題に取り組む。</p> <p>・長編版「アイズプラネット」の冒頭を読み、教科書の文章と比較する。</p> <p>→P14「アイズプラネット」</p> <p>・設定の違いを表にまとめる。</p> <p>・登場人物の違いによって加わる展開の可能性について考える。</p> <p>◇「つなぐ」を読み、構成や展開、表現の効果を考えるには、複数の文章を比較すると効果的であることを押さえるとよい。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)</p> <p>→相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。</p> <p>・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ)</p> <p>→敬語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。</p> <p>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)</p> <p>→教科書の「アイズプラネット」と長編版「アイズプラネット」とを比較して読み、物語の設定の違いを捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ)</p> <p>→教科書の「アイズプラネット」と長編版「アイズプラネット」とを比較して読み、登場人物の違いによって、どんな展開の可能性が加わるかを考えている。</p>
		2	<p>2 P257の提案を聞き、学習課題に取り組む。</p> <p>・大川さんの提案を聞き、大川さんが卒業生に伝えたいことは何かを考える。</p> <p>◇教科書の文章を読ませてもよいが、音声をかかせてメモを取らせたいほうが望ましい。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>→P26「問いを立てながら聞く」</p> <p>・自分が卒業生に言葉を贈るとしたら、どんな言葉を選ぶかを考え、出典を明らかにして、その言葉と選んだ理由を書く。</p> <p>→P54「魅力的な提案をしよう」</p> <p>◇グループ内で実際に発表させ、感想を伝え合ってもよい。</p> <p>◇「つなぐ」を読み、根拠の適切さや、構成の工夫などについて確認するとよい。</p>	
		3	<p>3 P258のメールの下書きを読み、学習課題に取り組む。</p> <p>・山内さんのメールの下書きを読み、推敲する。</p> <p>→P114「表現を工夫して書こう」</p> <p>→P116「表現の効果を考える」</p> <p>◇「つなぐ」を読み、電子メールを書くときの留意点、気持ちや用件を的確に伝えるための工夫、敬語の使い方などについて確認するとよい。</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>		<p>→P117「敬語」</p> <p>→P272【資】「いろいろな通信文」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ) →卒業生に贈る言葉を考え、出典や理由を明らかにして、話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) →「卒業生に贈る言葉」についての大川さんの提案を論理の展開に注意して聞き、話し手の伝えたいことを捉えている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを書いている。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) →読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲している。 <p>【態】進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。</p>

指導事項配列表（3年）NO.1

指導事項配列表（3年①）				【知識及び技能】										
				(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項					(2)情報の 扱い方に 関する事項			(3)我が国の言語文化に 関する事項		
				ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 大體を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類と特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。	
月	教材	時数												
4	世界はうつくしいと	1		◎										
	握手	4		◎										
	[聞く]評価しながら聞く	1						◎						
	季節のしおり 春	-												
5	1 深まる 学びへ	2									◎			
	学びて時に之を習ふ——「論語」から	1								◎				
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	4				◎								
	文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する	1	◎											
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	1	◎											
6	2 視野を 広げて	3							◎					
	作られた「物語」を超えて	1							◎					
	思考のレッスン 具体化・抽象化	4							◎					
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	1	◎											
	資料 リオの伝説のスピーチ	1												
	漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ →文法1 文法を生かす (P212-214)	1												
情報社会を 生きる	3							◎						
7	3 言葉と ともに	3 [1]		◎	◎									
	俳句の可能性 [書く]俳句を作って楽しもう	1			◎									
	俳句を味わう	1									◎			
	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現をみざして	1		◎										
	言葉1 和語・漢語・外来語	1												
読書生活を 豊かに	読書を楽しむ	1												◎
	「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森	1												◎
	読書案内 本の世界を広げよう	1												◎
	読書コラム ためになるってどんなこと？	1												◎
	季節のしおり 夏	-												

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
 ★対応する言語活動例。
 ・学習経験として蓄積させる。

【思考力、判断力、表現力等】											
A 話すこと・聞くこと			B 書くこと				C 読むこと				
(1) 指導事項		(2) 言語活動例	(1) 指導事項		(2) 言語活動例	(1) 指導事項		(2) 言語活動例			その他
ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。		オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。		イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。	ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。		ウ 実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動。			
◎							◎	◎		★	
		◎							◎	★	
				◎	◎		★				
								◎	◎	★	
◎	◎										
											2年知・技 (1) オ
				◎				◎	◎	★	★
					◎	◎			◎	★	2年書く (2) ウ
									◎	★	
									◎	★	

指導事項配列表（3年）NO.2

指導事項配列表（3年②）				【知識及び技能】									
				(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項					(2)情報の 扱い方に 関する事項			(3)我が国の言語文化に 関する事項	
				ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 大體を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類と特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。
月	教材	時数											
9	4 状況の中で	挨拶——原爆の写真によせて	2		◎								
		故郷	5							◎			
		聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1				◎						
		[推敲]論理の展開を整える	1					◎					
		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1			◎							
		漢字2 漢字の造語力	1	◎									
10	5 自らの 考えを	漢字に親しもう3	1	◎									
		人工知能との未来	3					◎					
		人間と人工知能と創造性						◎					
		多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	4					◎					
		漢字に親しもう4	1	◎									
		[議論]話し合いを効果的に進める	1					◎					
11	6 いにしえの 心を受け継ぐ	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4					◎					
		音読を楽しもう 初恋	1		◎								
		季節のしおり 秋	-										
		和歌の世界	1					◎					
		音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序						◎					
		君待つと——万葉・古今・新古今	2					◎	◎				
夏草——「おくのほそ道」から [書く]古典の言葉を用いし、 メッセージを贈ろう	4 [1]					◎	◎						
12	7 価値を 生み出す	古典名句・名言集						◎	◎				
		誰かの代わりに	3		◎								
		情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	2					◎					
		漢字3 漢字のまとめ	1	◎									
		漢字に親しもう5		◎									
		文法への扉2「ない」の違いがわからない？ →文法2 文法のまとめ (P215-218)	1										
読書に親しむ	本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース/ 紛争地の看護師	1								◎			
	読書案内 本の世界を広げよう									◎			
	季節のしおり 冬	-											

指導事項配列表（3年）NO.3

指導事項配列表（3年③）		【知識及び技能】									
		(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項					(2)情報の 扱い方に 関する事項			(3)我が国の言語文化に 関する事項	
		ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。
月	教材	時数									
1	8 未来へ 向かって	温かいスープ	3								◎
		わたしを束ねないで	2	◎							
		三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	6		◎		◎				
		漢字に親しもう6	1	◎							
3	振り返り	学習を振り返ろう	4			◎	◎			◎ ◎	
巻末 教材	文法・漢字	文法 一、二年生の復習 文法1 文法を生かす 文法2 文法のまとめ									
		小学校六年生で学習した漢字一覧		◎							

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
 ★対応する言語活動例。
 ・学習経験として蓄積させる。

【思考力、判断力、表現力等】						その他
A 話すこと・聞くこと		B 書くこと		C 読むこと		
(1) 指導事項	(2) 言語活動例	(1) 指導事項	(2) 言語活動例	(1) 指導事項	(2) 言語活動例	
ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。	イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。	ア 目的や意図に応じて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。	ウ 実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動。 イ 詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ア 論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動。 エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。
					◎	★
					◎	★
	◎		◎		★	
	◎		◎		◎	★ ★
						1年知・技 (1) エ 2年知・技 (1) オ

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	<p>世界はうつくしいと 1時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 詩を通読する。 ◇読むスピードや音量、読む人数などを変えて、詩を複数回朗読させる。詩の内容を考えながら句点で句切りながら交替で音読するのもよい。</p> <p>2 詩を読み深める。 ・詩を読んで感じた素朴な疑問を質問の形にして書き出す。 ◇言葉・文字の使い方・リズム・表現技法などに着目させるとよい。 ・隣どうして質問し合い、お互いに相手の質問について考えたことを伝える。それを踏まえて、自分なりの答えを考える。 ・自分にとっての「うつくしいもの」を考え、グループで交流する。</p> <p>3 詩の特徴を生かして朗読する。 ・自分なりの解釈を踏まえて、詩をもう一度朗読し、最初に読んだときと比べて、詩に対する印象はどのように変わったか、自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ →詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。</p> <p>【態】進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。</p>
1 深まる学びへ				
4月	<p>握手 4時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	1	<p>【目標】や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →P25 言葉</p> <p>2 2 作品の設定を捉える。 ・「現在」と「回想」の部分を読み分け、時間の順序を整理しながら、場面や登場人物の設定を確認する。(学習①-1) ・展開のしかたにどんな特徴や効果があるか話し合う。(学習①-2) ◇回想を織り込んだ展開の特徴を捉え、その効果を考えさせる。 →P24 窓「展開のしかたを捉える」</p> <p>3 3 登場人物の人物像を読み取る。 ・「ルロイ修道士」の人物像が読み取れる言動を抜き出し、どのような人物であるかを短くまとめる。(学習②-1) ◇「ルロイ修道士」の場面ごとの状況や立場、年齢などを踏まえ、エピソードから読み取れる性格や価値観、ものの方や考え方を捉えさせる。 ◇人物像を表す言葉の一覧を示し、活用させるとよい。</p> <p>4 登場人物の心情を読み取る。 ・「わたし」と「ルロイ修道士」との間でかわされた、3回の握手に込められた二人の思いを考える。(学習②-2) ・「ルロイ修道士」の葬式で、「わたし」が「知らぬ間に、両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつけていた」ことの意味を考える。(学習②-2) ◇語り手の心情を表す言葉、登場人物の言動や会話、情景描写、出来事など、本文中の表現を根拠にして考えさせる。 ◇心情を表す言葉の一覧を示し、活用させるとよい。 →P232 窓「文学的な文章を読むために」</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(1)イ →時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。(C(1)ア) →「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えようとしている。(C(1)イ) →文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。</p> <p>【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
		4	<p>5 読み深めた感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み深めたことを踏まえ、「ルロイ修道士」の考え方や生き方について、自分で考えたことや感じたことを書く。(学習③) <p>→P284[資]「語彙を豊かに」</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「握手」の展開のしかたにはどんな特徴や効果があったか、自分の言葉でまとめる。 ・「ルロイ修道士」の生き方や価値観について語り合い、考えが深まったことを挙げる。 	
4月	<p>【聞く】評価しながら聞く 1時間</p> <p>◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 ペットに関する討論会の一部を聞き、メモを取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ペットを飼うことを人にすすめるか」について自分の考えをもつ。 ・P26「討論会の一部」を自分の考えと比較したり、内容や表現のしかたを評価したりしながら聞き、メモを取る。 <p>◇教科書を見せず、音声だけで内容を把握させる。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの例と「上達のポイント」を参考にして、自分のメモの取り方を評価する。 <p>→P9「思考の地図」</p> <p>→P239[資]「情報整理の方法」</p> <p>2 評価しながら聞く練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人グループを作り、2人が話し合い、残り2人は聞き取りメモを取る。 ・話し合った2人は聞き取りメモについて、メモを取った2人は話し合いで出た意見の内容や表現のしかたについて評価し、伝え合う。 ・役割を交代して、活動をもう一度行う。 <p>◇ペットを飼うことについて改めて話し合ったり、別の聞き取り教材を教師が準備して、生徒に続きを話し合わせたりしてもよい。</p> <p>→P240[資]「発想を広げる」</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと比べたり、表現に生かしたい点を意識したりしながら聞いたか。 	<p>【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>→根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) →立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理してメモを取り、根拠の適切さや自分の考えとの違い、取り入れたい表現などを伝え合っている。 <p>【態】聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。</p>
4月	<p>季節のしおり 春</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<ul style="list-style-type: none"> ・春の気象にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 <p>◇P28「学びて時に之を習ふ」、P70「俳句の可能性」、P148「君待つと」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇春をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>→作品中の「春」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>
5月	<p>学びて時に之を習ふ ——「論語」から 2時間</p> <p>◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。</p>	1-2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1「論語」という作品について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材冒頭の解説とP30の出典を読む。 <p>◇国語便覧や社会科資料集などを使って、孔子が生きた時代の歴史的背景などを確認させる。</p>	<p>【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>→教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>(知・技(3)ア)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>		<p>2 「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の書き下し文や訓読文を、漢文の言い回しに注意して、繰り返し朗読する。 ◇必要に応じて訓読の方法や返り点の種類などを確認させる。 →DVD・二次元コード →P31「漢文の訓読」 ・脚注を参考にして現代語訳を作り、孔子の考え方を読み取る。 ◇生徒の実態に応じて、現代語訳を配布したり、現代語訳作りを家庭学習にしたりしてもよい。 <p>3 日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「論語」の他の章句も現代語訳を付けて紹介し、選択肢を増やすとよい。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「論語」の中から、自分たちの生活に生かしていきたい言葉を選び、伝え合う。 	<p>親しんでいる。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>→孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。</p> <p>【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。</p>
5月	<p>情報整理のレッスン</p> <p>情報の信頼性</p> <p>1 時間</p> <p>◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 P32下段の問題について、グループで考える。</p> <p>2 教材文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報は編集されているため、情報の信頼性を確かめる必要があることを知る。 ・「確認の方法①」の「チェックポイント」の観点を参考にして、P32下段の問題を振り返る。 ・実際に本を手にとって、「確認の方法②」の「チェックポイント」の内容について確認する。 <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなメディアが伝える情報はすべて編集されていることを理解し、信頼性の確かめ方について確認する。 	<p>【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>→情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。</p> <p>【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。</p>
5月	<p>文章の種類を選んで書こう</p> <p>修学旅行記を編集する</p> <p>4 時間</p> <p>◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 4, 5人のグループで編集会議を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で心に残った出来事などを、付箋やカードなどに書き出す。 ・メモを整理し、P37「目次の例」を参考に掲載する記事の内容や順序などの大枠を決める。 →P9「思考の地図」 →P239「情報整理の方法」 ・P34下段「①文章の種類を決める」を参考にしながら記事の内容を効果的に伝えられる文章の種類や、文章に添える図表や写真について話し合い、担当するページを決める。 →P244「グラフの活用／引用・出典」 <p>2 2 紙面構成を考えて下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P35下段を参照し、文章の種類に合わせて、内容や順序、図表や写真の配置などを工夫し、わかりやすい紙面構成を考え、下書きする。 →P36「修学旅行記の紙面例」 →P37「紙面作成のポイント」 →P284「語彙を豊かに」 <p>3 3 下書きを読んで助言し合い、清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P37「魅力的な紙面を編集するには」の観点を参考にして、お互いの下書きをチェックし合う。 ◇ポイントや評価規準をまとめたチェックシートを用意し、参考にさせてもよい。 	<p>【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ)</p> <p>→随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →修学旅行で心に残った出来事から題材を選び、その題材に関する情報や図表、写真を集め、出典を明らかにして記事の中で活用している。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) →担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し、その種類に合わせた文章の構成や表現を工夫している。 <p>【態】進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
		4	4 冊子にまとめ、読み合う。 5 学習を振り返る。 ・どんな点に注意して文章の種類を選び、書いたか。 ・どんな点を工夫して編集したか。	
5月	漢字 1 熟語の読み方 漢字に親しもう 1 1 時間 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 導入の例から、漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。 2 教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 ◇P301[資]「三年生で学習した音訓」やP302[資]「常用漢字表」、P316[資]「常用漢字表 付表」、漢和辞典などで、音読みと訓読みを確認させる。 4 P40「漢字に親しもう 1」の問題に取り組む。 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 →P290[資]「三年生で学習した漢字」 →P301[資]「三年生で学習した音訓」 →P302[資]「常用漢字表」	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) →漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
2 視野を広げて				
5月	作られた「物語」を超えて 3 時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 →DVD・二次元コード(ドラミング) →P49[言葉] 2 筆者の問題意識(話題)を捉える。 ・この文章では、「物語」という言葉を、どのような意味で用いているか、文脈に即して読み取る。(学習①-1) ・ゴリラについて作られた「物語」とは、どんなものか、また、それはどのような経緯で作られたのか、説明の要旨を捉える。(学習①-2) ・ゴリラの観察を通して、どんなことがわかったか、説明の要旨を捉える。(学習①-3)	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) →ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) →論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) →原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。 【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。
2	3 筆者の主張と論理の展開を捉える。 ・筆者は、ゴリラなど野生動物の事例から、人間に共通するどんな性質を導き出したか、また、その性質は、人間の社会にどんな状況をもたらすと考えているかを捉える。(学習②-1) ・筆者は、作られた「物語」を超えて真実を知るためには、どうすべきだと主張しているか、要約する。(学習②-2) ・本文を序論・本論1・本論2・結論に分け、ゴリラなど野生動物の事例から、筆者の主張に至る論理の展開を説明する。(学習②-3) ◇「具体と抽象」、「原因と結果」、「意見と根拠」などの概念を使って論理の流れや関係などを整理させるとよい。 →P50「思考のレッスン 具体化・抽象化」 →P234[資]「説明的な文章を読むために」 →P236[資]「情報と情報との関係」			
3	4 筆者の主張と論理の展開を評価する。 ・自分の体験や見聞きした事例を根拠にして、筆			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
			<p>者の主張に共感できるか否かをグループで話し合う。(学習③-1)</p> <p>→P26「評価しながら聞く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主張に至る論理の展開は、わかりやすく適切か」、「読み手の共感を得るのに有効か」という観点で、筆者の論理の展開を評価し、根拠を明確にししながら、考えたことを文章にまとめる。(学習③-2) <p>→P48窓「論理の展開を評価する」</p> <p>→P284窓「語彙を豊かに」</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物語」を作り、伝えたがる人間の性質を踏まえて、自分が今後、意識していきたいと思うことを語り合う。 ・論理の展開を評価するときには、どんな点に着目するとよいか、自分の言葉でまとめる。 <p>→二次元コード (筆者のインタビュー)</p>	
6月	<p>思考のレッスン</p> <p>具体化・抽象化</p> <p>1時間</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 P50の教材文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象の関係で捉えられるものや、具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解する。 ・下段の問題1に取り組む。 <p>◇「抽象への展開を示す言葉」を活用させるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめた文をお互いに伝え合う。 <p>→P236窓「情報と情報との関係」</p> <p>2 P51の教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段の問題2に取り組む。 <p>◇「例えば」以外にも、P50「具体への展開を示す言葉」を活用させるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループになって、各自が作った具体例の具体化の程度を順序づけ、全体に発表する。 <p>◇問題2の答えを付箋紙に書かせておくと、グループでの分類作業が効率的に行える。</p> <p>◇ICT機器などを活用して、発表内容を全体で共有できるように工夫するとよい。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んだり書いたりするときには、具体と抽象の関係についてどんなことに注意すればよいか確認する。 	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>→具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。</p> <p>【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。</p>
6月	<p>説得力のある構成を考えよう</p> <p>スピーチで社会に思いを届ける</p> <p>資料 リオの伝説のスピーチ</p> <p>4時間</p> <p>◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 話題を決めて、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P56「リオの伝説のスピーチ」を通読する。 ・P52下段を参照させ、社会で起きている出来事や問題の中で、多くの人に伝えたいと思ったことを選び、話題にする。 <p>→P240窓「発想を広げる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの目的と、スピーチをする相手や場を確認し、信頼性の高い情報を集める。 <p>→P32「情報整理のレッスン 情報の信頼性」</p> <p>→P239窓「情報整理の方法」</p> <p>2 2 話の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P53「観点」や下段を参考にしてスピーチの構成を考え、構成メモにまとめる。 	<p>【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>→情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) <p>→話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	3-4	<p>・構成メモの内容について、P55窓「聞き手の心に訴えるスピーチをするために【内容を考えるとき】」を参考にして、グループやペアで評価し合い、推敲する。</p> <p>◇ポイントや評価規準をまとめたチェックシートを用意して参考にさせてもよい。</p> <p>3 スピーチの会を開く。</p> <p>・推敲した構成メモを基に、P54「スピーチの例」やP55「スピーチで大切な三つのポイント」、P55窓「聞き手の心に訴えるスピーチをするために【発表するとき】」を参考にスピーチをする。</p> <p>◇ポイントや評価規準をまとめたチェックシートを用意して参考にさせてもよい。</p> <p>◇聞き手が感想を伝えたり質問したりする時間を取る。</p> <p>→DVD・二次元コード</p> <p>→P26「評価しながら聞く」</p> <p>→P55「質疑応答の例」</p> <p>◇生徒たちが自分のパフォーマンスを振り返ることができるよう、ICT機器を使ってスピーチや質疑応答の様子を録音・撮影しておくもよい。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>・根拠とする情報は、信頼性の高いものを選んだか。</p> <p>・聞き手の心を動かすスピーチをするために、どんなところに気をつけたか。</p>	<p>の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ)</p> <p>→興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。</p> <p>【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。</p>
6月	<p>漢字に親しもう2</p> <p>1時間</p> <p>◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 新出漢字を確認する。</p> <p>2 練習問題に取り組む。</p> <p>◇漢字の音訓、部首、送り仮名などの既習事項を思い出させる。</p> <p>◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</p> <p>→P290窓「三年生で学習した漢字」</p> <p>→P301窓「三年生で学習した音訓」</p> <p>→P302窓「常用漢字表」</p>	<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p> <p>→文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
6月	<p>文法への扉1</p> <p>すいかは幾つ必要?</p> <p>1時間</p> <p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(2年知・技(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。</p> <p>・導入の課題に取り組み、果物の個数について、母と息子の間で誤解が生まれた原因について考える。</p> <p>・誤解の原因を指摘し、母親はどのように伝えるべきだったのか話し合う。</p> <p>2 P212「文法1 文法を生かす」を読み、文節・連文節の係り受けなど、既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。</p> <p>・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確認する。</p> <p>→P210「文法 一、二年生の復習」</p>	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。(2年(1)オ)</p> <p>→既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。</p> <p>【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3 言葉とともに				
7月	<p>俳句の可能性 俳句を味わう 【書く】俳句を作って楽しもう 3時間(読②書①)</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎文章の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>◎多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>◎表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★俳句を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(2年思・判・表B(2)ウ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 情景を想像しながら、それぞれの俳句を朗読する。(学習①)</p> <p>◇「いつ」「どこで」「誰が」「何を」しているかを具体的に想像させ、伝え合わせるとよい。</p> <p>2 本文を読み、俳句についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「季語」「有季定型」「歳時記」「切れ字」「自由律俳句」「無季俳句」の意味を確認する。(学習②-1) ・本文中から、筆者のものの見方や感じ方がよく表れている語句や表現を抜き出して、意味を確認する。(学習②-2) ・本文やP74「俳句を味わう」から、好きな俳句を一句選び、短い鑑賞文を書く。(学習②-3) <p>◇感じたことや想像したことだけではなく、そう感じさせた表現や特徴を具体的に示させる。</p> <p>→P284[資]「語彙を豊かに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ俳句を選んだ生徒でグループを作り、鑑賞文を読み合う。 <p>3 P75「俳句を作って楽しもう」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名人の作句法などを基に、俳句を作る。 <p>◇学校図書館から、名句集や歳時記などを借りてきて、参考にさせるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を持ち寄り、P75「句会を開こう」を参考にし、句会を行う。 <p>→二次元コード</p> <p>◇選んだ俳句や紹介された俳句のよい点をメモさせるとよい。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句の特徴にはどのようなものがあつたか確かめる。 ・次に俳句を作るときに参考にしたい語句の使い方や表現のしかたをまとめる。 	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>→俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ) <p>→俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) <p>→語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) <p>→伝えたいことが効果的に伝わる構成(語順)を考慮して、俳句を創作している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) <p>→自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。</p> <p>【態】進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。</p>
7月	<p>言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現をみざして 1時間</p> <p>◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 言葉の変化について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、「時代による言葉の変化」と「世代による言葉の変化」があることを知る。 <p>2 言葉の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の小説や祖父母との会話などを手がかりにして、時代や世代によって異なる言葉の例を探し、話し合う。 <p>→P246[資]「高瀬舟」</p> <p>→P272[資]「古典・近代文学の名作」</p> <p>3 相手や場面によって、言葉を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す相手や場面を設定し、P77下段にある吹き出しの文章をわかりやすく書き換える。 ・書き換えた文章を伝え合い、自分の文章を振り返る。 ・クラス全体で適切な言い方について確認する。 <p>→P78「言葉1 和語・漢語・外来語」</p>	<p>【知・技】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ)</p> <p>→古典や近代文学、年配のひととの会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。</p> <p>【態】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	言葉1 和語・漢語・外来語 1時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文の導入の例を基に、和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。 ・和語・漢語・外来語の表現を比較し、感じ方の違いを伝え合う。 2 教材文を読み、和語・漢語・外来語・混種語について理解する。 ・例を参照しつつ、それぞれの特徴を理解する。 ・P79「生活に生かす」を読み、和語・漢語・外来語をどのように使い分けるのがよいか、生活の中の具体的な場面を想定して考える。 ◇P77「③相手や場面によって、言葉を選ぼう」の課題を振り返らせるとよい。	【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ →和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。 【態】 進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
読書生活を豊かに				
7月	読書を楽しむ 1時間 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 さまざまな読書の楽しみ方について知る。 2 「ブックトーク」「読書会」「読書生活をデザインする」の中から、夏休みに行く活動を選ぶ。 ・ブックトーク、読書会を選んだ生徒は、4～6人程度のグループを作る。読書生活のデザインは個人で行う。 ◇学校や地域の状況に応じて、教師が活動を決めてもよい。 ◇P88「本の世界を広げよう」のテーマや本を参考にして、取り組ませてもよい。 3 教材文に示されている各活動の内容に沿って、今後の見通しを立てる。 ◇活動計画書などのワークシートを用意し、配布するとよい。 4 活動を行い、レポートか活動報告書を提出する。 ・読書生活のデザインを選んだ生徒は、P81を参考にレポートを、ブックトークまたは読書会を選んだ生徒はグループごとに活動を行い、活動報告書を夏休み明けに提出する。 ◇レポートや活動報告書のワークシートを用意し、配布するとよい。 ◇次時の『「私の一冊」を探しにいこう」と合わせて指導することも考えられる。 →P9「思考の地図」 →P232 窓 「文学的な文章を読むために」 →P239 窓 「情報整理の方法」 →P284 窓 「語彙を豊かに」	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ →さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。 【態】 進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
7月	「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？ 1時間 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意	1	リード文や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 教科書本文を通読し、本のさまざまな探し方について知る。 2 学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味をもてそうな本を探す。 ◇P88「本の世界を広げよう」を参考にしてもよい。 →P90「私の一冊」 →P91「ためになるってどんなこと？」 →P246 窓 「高瀬舟」「二つの悲しみ」「アラスカとの出会い」 →P269 窓 「読書記録をつける」 3 見つけた本を夏休みに読み、書評やポップを書く。	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。(3)オ →本のさまざまな探し方について理解し、興味をもてそうな本を見つけている。 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>		<p>◇読書活動を促すために、書評やポップを書く活動を取り入れるとよい。P82の例を参考にさせたり、書き方を示したプリントを用意して配布したりするとよい。</p> <p>→P232^資「文学的な文章を読むために」</p> <p>→P239^資「情報整理の方法」</p> <p>→P284^資「語彙を豊かに」</p> <p>◇前時の「読書を楽しむ」と合わせて指導することも考えられる。</p> <p>4 インターネットなどから自分が選んだ本の書評やポップを検索し、自分の書いたものと比べてみる。</p> <p>◇本の探し方や書いたものを共有し合うとよい。</p>	<p>【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。</p>
7月	<p>季節のしおり 夏</p> <p>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<p>・夏の気象にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>◇P70「俳句の可能性」、P74「俳句を味わう」、P148「君待つと」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇夏をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>→作品中の「夏」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
		5	<p>3 作品を批評する。(学習③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み深めたことを踏まえ、作品のもつ特性や価値について批評する。 ・「学習の窓」などを参考に批評の観点を決め、本文や調べてわかった事実を根拠に論じたり、評価したりする。 <p>◇描かれた内容を自分の知識や経験、考えと比べたり、別の視点や立場から作品を捉え直してみたりするなど、批判的に読ませる。</p> <p>→P112窓「小説を批評する」 →P284窓「語彙を豊かに」</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の批評を読んで、自分の捉え方との共通点や相違点などを基に、考えが深まったことを発表する。 ・今後、小説を読んで自分の考えをもつために、大切にしたい観点を挙げる。 	
9月	<p>聞き上手になろう</p> <p>質問で相手の思いに迫る</p> <p>1時間</p> <p>◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 対談の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～5人で一組になり、話し手(1人)、聞き手(1人)、聴衆(1～3人)を決める。 ・聞き手役は、話し手から話題を聞き、中心となる質問を考えたり、P115「対談の例」を参考にして話の流れを予想したりする。 ・話し手役は、P115「対談の例」を参考に、話題を選んだ理由や具体的なエピソードなどを考える。 ・聴衆役は、講評メモの用意をする。 <p>→DVD・二次元コード</p> <p>2 対談を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手役は、P114窓「質問で相手の内面に迫るには」の観点到留意しながら、話し手や聴衆の様子を見て、「具体化」、「価値づけ」、「言い換え」などをして、話を引き出す。 ・聴衆役は、P114窓「質問で相手の内面に迫るには」の観点到留意して聞き、講評メモを取る。 <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手、聞き手、聴衆、それぞれの立場から、対談を通して気づいたことや感じたことを交流する。 	<p>【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)</p> <p>→話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)</p> <p>→自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。</p> <p>【態】粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。</p>
9月	<p>【推敲】論理の展開を整える</p> <p>1時間</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 P116上段の文章を通読し、下段の課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P116下段「上達のポイント」を参考にする。 <p>◇「事実と意見」、「意見と根拠」、「具体と抽象」について、既習事項を振り返りながら課題に取り組ませるとよい。</p> <p>→P236窓「情報と情報との関係」</p> <p>2 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような点を意識して、意見文を推敲したか。 	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>→「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ)</p> <p>→課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。</p> <p>【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 1時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 導入の例のような、一まとまりで決まった意味をもつ言葉をできるだけたくさん書き出す。 →P284[資]「語彙を豊かに」 2 教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 ・慣用句を使って短文を作る。 ・ことわざや故事成語の意味を調べる。 ・P118「生活に生かす」に挙げられている慣用句やことわざの誤用の例を、生活を振り返って探してみる。 ◇インターネットなどを使って、誤用例を検索させるのもよい。 3 学習を振り返る。	【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ →慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。 【態】 積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
10月	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 1時間 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 導入の文章を読み、新しい日本語が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 4 P122「漢字に親しもう3」の問題に取り組む。 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 →P290[資]「三年生で学習した漢字」 →P301[資]「三年生で学習した音訓」 →P302[資]「常用漢字表」	【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア →漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5 自らの考えを				
10月	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 3時間 ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる(知・技(2)イ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の要旨を捉える。 ・内容の信頼性や客観性を確かめながら、それぞれの要旨を捉える。(学習①) ◇筆者の意見とその根拠が書かれているところに印を付けさせるとよい。 →P234[資]「説明的な文章を読むために」	【知・技】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 →自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) →二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。 【態】 積極的に二つの文章を批判的に読み、
2	2 文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げる。 ・観点を決めて二つの文章を比較し、共通点や相違点を表にまとめる。(学習②-1) ・筆者の考えに納得できたこと、できなかったことを手がかりに、「これからの時代に大切なこと」を考え、グループで討論する。(学習②-2) →P242[資]「話し合いの方法」			
3	3 自分の考えを文章にまとめる。 ・2で行った討論を基に、「これからの時代に大切なこと」を300字程度で文章にまとめる。 ◇自分の立場を明確にして、根拠となる文章や事実を引用するなどして、説得力のある意見を書かせる。			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	★論説の文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)		4 学習を振り返る。 ・人間と人工知能との関わりについて意見を述べる場合、他にどんな立場が考えられるか考える。 ・「批判的に読む」ことは、どういうときに必要だと思うか、自分の考えをまとめる。	学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
10月	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 4時間 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)	1 2 3 4	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 批評文について知り、題材を選ぶ。 ・地域社会の中で見聞きしたことや、メディアを通して知ったこと、本や映画など、関心のある事柄や気になった事柄を選ばせる。 ◇友達と題材を挙げ合うとよい。 ◇先にP132「批評文の例」を読み、批評文のイメージをつかませてもよい。 →P240[資]「発想を広げる」 2 観点を決めて分析する。 ・広告の例を参考に、対象とする事柄の特性や価値などについて、観点を決めて客観的に分析し、自分の考えを書き出す。 ◇自ら提起した問題について、具体的な根拠を挙げて答えを導かせる。それを基に友達と意見を交流させて、さらに考えを深めさせるとよい。 ◇資料を引用して説得力をもたせるようにする。 3 構成を考える。 ・意見と根拠の関係など、説得力のある論理の展開を考える。 ・自分の考えを支える資料の引用を検討する。 4 推敲して仕上げる。 ・下書きをして友達と助言し合い、清書する。 ◇600～800字で書くようにさせる。 ◇P132「批評するときの言葉」や「批評文の例」下段の文型を参考にさせるとよい。 →P133[窓]「説得力のある批評文を書くには」 →P284[資]「語彙を豊かに」 5 学習を振り返る。 ・どのように分析・吟味して批評をまとめたか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。 ◇分析や資料の引用、論理の展開や言葉の選び方などに着目して評価し合うとよい。 →P244[資]「グラフの活用／引用・出典」	【知・技】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア →具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) →観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。 【態】 粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
10月	漢字に親しもう 4 1時間 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。 ◇熟語の構成、部首、漢字の音訓などの既習事項を思い出させる。 ◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 →P290[資]「三年生で学習した漢字」 →P301[資]「三年生で学習した音訓」 →P302[資]「常用漢字表」	【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア →文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
10月	<p>【議論】話し合いを効果的に進める 1時間</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 卒業文集のテーマ設定についての話し合いの例を聞き、論点を整理する。 →DVD</p> <p>・それぞれの意見の共通点と相違点を聞き取り、話の論点を整理する。</p> <p>・話し合いの目的に合わせて、効果的に進めるために、話し合いの展望をもつ。 ◇「上達のポイント」を確認させる。</p> <p>2 テキストの口の欄に当てはまる発言を考える。 ・参加者になったつもりで、話し合いの進め方について意見を述べる。</p> <p>3 学習を振り返る。 ・話し合いを効果的に進めるためには、どんなことに注意すればよいか。</p>	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) →全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) →話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。</p> <p>【態】積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。</p>
11月	<p>合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 4時間</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)</p>	1 2-3 4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める。 ◇地域社会や学校生活、将来のことなどの中から解決したい課題を見つけ、議題を決めさせる。 →P240窓「発想を広げる」</p> <p>2 グループで具体的な提案を考える。 ・ブレインストーミングでアイデアを出し合い、グループごとに提案を絞り込む。 ◇自由にアイデアを出させる。 ◇根拠や意義を考えて説得力のある提案をさせる。 →P242窓「話し合いの方法」</p> <p>3 全体会議を開く ・観点を決めてグループごとの提案を検討する。 ・互いの意見のよいところを生かして合意形成に導く。 ◇提案が目的に合っているか、実現可能ななどの観点から分析させる。 ◇座標軸などで可視化しながら整理させる。 →DVD・二次元コード →P139窓「話し合って合意を形成するには」 →P239窓「情報整理の方法」</p> <p>4 学習を振り返る。 ・共通点などを見つけて、提案を整理したか。 ・合意形成するために、どんなことに気をつけたか。</p>	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) →複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) →提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。</p> <p>【態】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>
11月	<p>音読を楽しもう 初恋 1時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎詩の構成や展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識すると</p>	1	<p>リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。 ・近代に作られた文語定型詩を読み、リズムや響きなどについて気づいたことを話し合う。</p> <p>2 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。 ・詩に描かれた情景と詩の中の人物の心情を想像する。</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。(1)イ) →言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) →文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	ともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)		◇「初恋」という詩から読み取った思いと自分の経験を結び付けて想像させる。	想像している。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
11月	季節のしおり 秋 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	-	・秋の気象にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇P28「学びて時に之を習ふ」、P70「俳句の可能性」、P148「君待つと」などの資料として用いてもよい。 ◇秋をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ →作品中の「秋」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
6 いにしえの心を受け継ぐ				
11月	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 1時間 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 「和歌の世界」を読む。 ・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」について興味をもつ。 ◇三大和歌集について時代背景や作者、作風などを整理させる。 →P272[資]「古典・近代文学の名作」やP278[資]「日本文学の流れ」で文学史を知り、歴史的背景に興味をもたせるとよい。 2 「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。 ・歴史的仮名遣いに気をつけて朗読し、古文の言葉の響きやリズムを味わう。 ◇「和歌」を植物の種と葉にたとえていることを知り、現代語訳や語注を参考に、作者が和歌をどう捉えていたかを想像させる。 →[DVD・二次元コード]	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア →「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。 【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	君待つと ——万葉・古今・新古今 2時間 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎和歌の表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★和歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 和歌を声に出して読む。 ・朗読を通して言葉の響きやリズムを楽しむ。 ◇歴史的仮名遣いに気をつけて朗読させ、脚注を参考に、長歌や反歌など和歌の形式を味わわせる。 →[DVD・二次元コード] 2 和歌の世界を味わう。 ・現代語訳や語注を参考に、和歌に詠まれた心情や情景を想像し、用いられている表現技法について知る。 ・三つの和歌集の歌を比較して、表現について感じたことなどを話し合う。 →P153「和歌の表現方法」 ◇自分の選んだ和歌に用いられている表現技法に気づかせ、グループで共有させる。 ◇P153「和歌の表現方法」を読み、他の表現技法について興味をもたせることも考えられる。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア →三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ →気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。 【思・判・表】「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) →心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。 【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書くようとしている。
		2	3 心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。 ・脚注などを参考にしながら心情や情景を考える。 →P27・P92・P142・P194「季節のしおり」の和歌などを用いて選択肢を増やしてもよい。	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
			<p>◇鑑賞文の書き方のポイントを示すとよい。</p> <p>◇心に響いた言葉や表現を引用して友人に思いを伝える文章を書く学習も考えられる。</p> <p>→P162「古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう」</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>・どの和歌から、どのようなことを想像したか述べる。</p> <p>・どのような表現や内容に着目して鑑賞したか挙げる。</p>	
11月	<p>夏草</p> <p>——「おくのほそ道」から</p> <p>【書く】古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう</p> <p>4時間（読③書①）</p> <p>◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。（知・技(3)ア）</p> <p>◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。（知・技(3)イ）</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。（思・判・表C(1)エ）</p> <p>◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。（思・判・表B(1)イ）</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。（主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>★古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。（思・判・表C(2)イ）</p> <p>★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。（思・判・表B(2)イ）</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を朗読する。</p> <p>・俳句と地の文から成る構成の効果に気づき、芭蕉の思いを想像しながら全文を朗読する。（学習①）</p> <p>◇歴史的仮名遣いの読み方に注意させる。</p> <p>→DVD・二次元コード</p>	<p>【知・技】</p> <p>・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。（(3)ア）</p> <p>→作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。</p> <p>・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</p> <p>→古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。（(3)イ）</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。（C(1)エ）</p> <p>→芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。</p> <p>→芭蕉が見たものや感じたことを想像している。</p> <p>・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。（B(1)イ）</p> <p>→自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。</p> <p>【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。</p>
2	<p>2 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。（学習②）</p> <p>・芭蕉の「旅」に対する思いが読み取れる部分を抜き出し、現代の「旅」がもつ意味と比べる。</p> <p>・高館や光堂での芭蕉の思いを想像する。</p> <p>◇脚注にある歴史的背景を参考にさせる。</p>			
3	<p>3 心に響く俳句について発表する。（学習③）</p> <p>・自分の心に響く俳句を一句選び、その理由などについて発表し合う。</p> <p>◇P156『『おくのほそ道』俳句地図』にある俳句も参考にさせるとよい。</p>			
4	<p>4 学習を振り返る。</p> <p>・「夏草」の、表現や文体の特徴を挙げる。</p> <p>・芭蕉のものの見方や感じ方について考えたことを発表する。</p> <p>5 古典の言葉を引用し、メッセージを贈る。</p> <p>・P162の手順を読み、これまで学習した古典の文章から、気に入った言葉や心に響いた言葉、誰かに贈ってみたい言葉を選ぶ。</p> <p>◇P27・P92・P142・P194「季節のしおり」などを参考にさせてもよい。</p> <p>・どのような状況の、誰に、どのような目的でメッセージを贈るのかを考える。</p> <p>・自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、選んだ古典の言葉の意味と、伝えたい思いとの関連を意識してまとめる。</p> <p>6 文章を友達と読み合い、学習を振り返る。</p> <p>・相手の状況や自分の思いにふさわしい言葉や文章の種類を選択したか。</p> <p>・論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫したか。</p>			
12月	<p>古典名句・名言集</p> <p>◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。（知・技(3)ア）</p> <p>◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。（知・技(3)イ）</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識すると</p>	-	<p>1 「古典名句・名言集」を朗読する。</p> <p>・気に入ったものがあればノートに書き出す。</p> <p>◇他の詩歌や文学作品なども参考にさせるとよい。</p> <p>→P27・P92・P142・P194「季節のしおり」</p> <p>→P28「学びて時に之を習ふ」</p> <p>→P272【窓】「古典・近代文学の名作」</p> <p>2 気に入った名句・名言を選ぶ。</p> <p>◇気に入った一節をノートに書き出させ、私家版名言集などを作らせることも考えられる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。（(3)ア）</p> <p>→作者や作品の時代背景を知り、古典の名句・名言を朗読している。</p> <p>・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。（(3)イ）</p> <p>→気に入った名句や名言をノートに</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	ともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)			書いたり、それについて自分の考えを書いたりしている。 【態】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
7 価値を生み出す				
12月	<p>誰かの代わりに 3時間</p> <p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★論説の文章を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 筆者の考えを確認しながら全文を通読する。(学習①)</p> <p>・ア 共感・納得できる、イ 反対・納得できない、ウ 疑問・わからないなどの観点に沿って、本文に記号を付けながら読む。</p> <p>◇読み終わったら、書き込んだところを共有させるとよい。</p> <p>2 2 筆者の考え方について話し合う。(学習②)</p> <p>・抽象的な概念を表す語句の文脈上での意味に注意しながら、筆者の考え方について話し合う。</p> <p>◇抽象的な概念を表す語句や類義語・対義語などの辞書的な意味を調べさせる。</p> <p>◇筆者による用語の言い換えや概念の説明のしかたなどにも着目させるとよい。</p> <p>→P50「思考のレッスン 具体化・抽象化」</p> <p>3 3 自分の考えをまとめる。(学習③)</p> <p>・話し合ったことを基に、社会や人間に対する筆者の考えについて、自分の考えをまとめる。</p> <p>→P234^資「説明的な文章を読むために」</p> <p>→P284^資「語彙を豊かに」</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>・筆者のものの見方や考え方を理解している。</p> <p>・社会や人間に対する筆者の考えと自分の考えを比較し、共通点と相違点を述べる。</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>→抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>→文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。</p> <p>【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。</p>
12月	<p>情報を読み取って文章を書く グラフを基に小論文を書く 2時間</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。</p> <p>・着眼点を決めてグラフなどの資料を読み取り、それに対して自問自答して、自分の考えをまとめる。</p> <p>◇グラフの数値の読み取り方や分析の方法を話し合わせる。</p> <p>→P244^資「グラフの活用」</p> <p>2 2 構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合う。</p> <p>・読み取ったことを基に、二段落構成の小論文を書く。</p> <p>◇P173「小論文に使う言葉」を参考にさせる。</p> <p>→P284^資「語彙を豊かに」</p> <p>・書いた小論文を読み合い、P172^密「小論文で自分の考えを書くには」の推敲・助言の観点を参考に、よい点や改善点を伝え合う。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <p>・資料から読み取ったことを基に、説得力のある論理展開を実現できるよう、助言を踏まえてどこをどのように推敲したか。</p>	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>→具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p> <p>→資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。</p> <p>【態】論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書くようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 1時間 ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 二年生までに学習した漢字を復習する。 ・漢字の部首、音訓、成り立ちや構成、送り仮名などを確認しながら問題に取り組む。 ◇同訓異字や同音異義の漢字を調べ、書き分けられるようにさせる。 →P301[資]「三年生で学習した音訓」 2 三年生で学習した漢字を復習する。 ・熟語の読み方、造語力などに気をつけながら問題に取り組む。 ◇漢字辞典や国語辞典などを使って調べさせる。 ◇慣用句・ことわざ・故事成語などの意味を調べさせる。 →P284[資]「語彙を豊かに」 3 P176「漢字に親しもう5」の問題に取り組む。 →P290[資]「三年生で学習した漢字」 →P302[資]「常用漢字表」	【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) →文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12月	文法への扉2 「ない」の違いがわからない? 1時間 ◎単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。(知・技1年(1)エ、2年(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を読み、「ない」の文法上の違いを理解する。 ・「ない」という語が意味や用法によって、形容詞、形容詞の一部、助動詞に分類されることを知る。 ◇それぞれの見分け方を理解させる。 →P210「文法 一・二年生の復習」 2 P215「文法2 文法のまとめ」にある文法の問題に取り組む。 ・三年間の文法の学習を思い出し、文の組み立てや単語の種類と働きなどについて復習する。	【知・技】 単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ) →「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。 【態】 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
読書に親しむ				
12月	本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内 本の世界を広げよう 1時間 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★二つのノンフィクションを比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり、文章にまとめた。 (思・判・表C(2)ア)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 「エルサルバドルの少女 ヘスース」と「紛争地の看護師」を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。 ・二つの作品の中で共感したことや疑問に感じたことなどを話し合う。 ◇写真や注などを参考にしたり、新聞やニュースなどで紛争地の情報を調べたりして、困難な状況でたくましく生きる人々や世界で活動する人々について考えさせる。 2 P191「本の世界を広げよう」を読み、読んだ本や、興味をもった本について語り合う。 ・読書が自分の人生や社会との関わりをどのように支えてきたか考える。 ◇これから読んでみたいジャンルや作家を挙げさせるとよい。 →P246[資]「高瀬舟」 →P259[資]「二つの悲しみ」 →P263[資]「アラスカとの出会い」 →P269[資]「読書記録をつける」	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) →二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。 【態】 進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	<p>季節のしおり 冬</p> <p>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	-	<p>・冬の気象にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ俳句や詩、名文を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>◇P70「俳句の可能性」、P272[窓]「古典・近代文学の名作」、P278[窓]「日本文学の流れ」などの資料として用いてもよい。</p> <p>◇冬をテーマにした他の詩歌を探し、交流することもできる。</p>	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>→作品中の「冬」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
8 未来へ向かって				
1月	温かいスープ 3時間 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 ・当時の状況がわかる語句や文に線を引き、筆者の思いを想像する。 ◇脚注を参考に当時の世界状況を想像させ、感想を共有させる。	【知・技】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ →文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。 【態】 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	2	2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 ・「月末のオムレツの夜」のエピソードを読み、筆者とレストランの母子それぞれの思いを読み取る。 ◇「温かいスープ」という題名に込めた筆者の思いを想像させる。		
	3	3 国際性について自分の考えをもつ。 ・筆者の考える「国際性」の基本とは何かを捉え、それについて自分の考えをもつ。 ◇国際性の基本とは何か、文章中の語句を引用して自分の考えをまとめさせる。		
1月	わたしを束ねないで 2時間 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 ・気になった言葉や表現上の特徴などを抜き出し、気づいたことを述べ合う。 ◇繰り返し使われている言葉や構成、表現技法などについて気づいたことを話し合わせる。	【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ →言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。 【思・判・表】 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。 【態】 詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	2	2 作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。 ・詩に込めた作者の思いを想像し、現代に生きる自分たちの可能性について話し合う。 ◇詩の歴史的背景を確認させるとよい。 →P278 ^{〔資〕} 「日本文学の流れ」		
2月	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 6時間(話聞①書⑤) ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 三年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決める。 ・印象に残っている学習を思い出し、それを基に、三年間の学びを総括するテーマを決める。 ◇教科書や学習記録を読み返したり、友達と話したりして三年間の学習を振り返らせる。 ◇卒業文集や自分史をまとめる学習などに発展させることも考えられる。	【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。(1)イ →目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ →相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えていく。
	2	2 冊子の構成を考える。 ・整理する観点を決め、タイトルや内容、編集後記などの構成を考える。 ◇表紙、中面、裏表紙など紙面の構成や役割について理解させる。		

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>ことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p> <p>◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>	<p>3-4</p> <p>5-6</p>	<p>→P34「文章の種類を選んで書こう」</p> <p>→P239[資]「情報整理の方法」</p> <p>3 冊子を作る。</p> <p>・2で考えた構成を基に、三年間の学びを冊子にまとめる。</p> <p>→P207「冊子の例」</p> <p>4 発表会を開く。</p> <p>・冊子の編集後記の内容を中心に、「これまで」と「これから」の学びについて発表する。</p> <p>◇3分間程度で、発表と質疑応答をするとよい。</p> <p>→[DVD]</p> <p>→P207[窓]「学んだことを意味づけ、今後に生かすためには」</p> <p>→P206「発表の例」「質疑応答の例」</p> <p>→P52「説得力のある構成を考えよう」</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・三年間の学習をどのように振り返り、まとめたか。</p> <p>・友達と作品を読み合ったり、発表を聞き合ったりする中で、自分の考えを深めることができたか。</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p> <p>→相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。</p> <p>・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)</p> <p>→自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。</p> <p>【態】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。</p>
2月	<p>漢字に親しもう6</p> <p>1時間</p> <p>◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	1	<p>1 これまでの学習を生かして、練習問題に取り組む。</p> <p>・三年間の漢字の総まとめとして、言葉の意味を辞書で確認しながら漢字を読んだり書いたりする。</p> <p>◇漢字の音訓、熟語の構成、部首、送り仮名、類義語・対義語などの既習事項を思い出させる。</p> <p>◇言葉の意味がわからないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。</p> <p>→P290[資]「三年生で学習した漢字」</p> <p>→P301[資]「三年生で学習した音訓」</p> <p>→P302[資]「常用漢字表」</p>	<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(知・技(1)ア)</p> <p>→音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
振り返り				
3月	<p>学習を振り返ろう</p> <p>4時間(読②話聞①書①)</p> <p>◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。(知・技(3)ウ)</p> <p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することがで</p>	1	<p>1 P225の小説を読み、学習課題に取り組む。</p> <p>・表現を基に、登場人物の心情を考えたり、根拠を基に、自分の考えを書いたりして問題を解く。</p> <p>◇「つなぐ」を読み、小説を読み取るために、登場人物の言動など根拠となる表現を挙げるようにさせるとよい。</p> <p>→P232[資]「文学的な文章を読むために」</p> <p>→P14「握手」</p> <p>→P98「故郷」</p>	<p>【知・技】</p> <p>・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)</p> <p>→相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。</p> <p>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>→目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ)</p> <p>→昔の時間の表し方や地名などを調べ、現代と比較したり、現代に受け</p>
		2	<p>2 P228の説明文を読み、学習課題に取り組む。</p> <p>・「アイヌ民族が長年守ってきた知恵」を文章から読み取る。</p> <p>・先人の知恵や文化が受け継がれた言葉の一つを取り上げ、その意味と由来を説明する。</p> <p>→P284[資]「語彙を豊かに」</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>きる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)</p> <p>◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p> <p>◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>	3 4	<p>◇「つなぐ」を確認し、さまざまな文章を読み、文章に表れているものの見方や考え方と自分の考えを比べることで、自分の考えを深めたり広げたりできることを押さえ、これからの読書生活がより豊かなものになるようにいざないたい。</p> <p>3 P229のスピーチ原稿を読み、学習課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題文と図表の関係を読み取り、適当な提示のしかたを考える。 ・論理の構成を考え、聞き手の興味を引くような説明のしかたを工夫する。 <p>◇課題文の設問に沿ってクイズを考えさせる。</p> <p>◇「つなぐ」を読み、聞き手の反応を確かめながら状況に応じてわかりやすい言葉に変えたり、補足したりするようにさせるとよい。</p> <p>→P237[資]「豊かに表現するために」</p> <p>4 P230の図表を用いて、学習課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箸の使い方を示したポスターの説明のしかたを考える。 ・説明するにはどちらの図がいいか比較し、その理由を話し合う。 <p>◇「つなぐ」を読み、どうすればわかりやすい文章になるか、互いのアイデアを出し合いながら話し合わせる。</p>	<p>継がれたりしていることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) <p>→アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →文章に表れているものの見方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ) →目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) →自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。 <p>【態】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。</p>

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	国語	学年	1	担当者	小澤章治・木村宏輝
----	----	----	---	-----	-----------

◇ 国語科の目標

確かな言語能力の育成と一人一人の能力の伸長

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	・朝のリレー 言葉に出会うために ・野原はうたう 1 学びをひらく	5	5 筋道を立てて ・「言葉」を持つ鳥, シジュウカラ ・音読を楽しもう 大阿蘇
5	・シンシュン ・漢字1 漢字の組み立てと部首 2 新しい視点へ	6	6 いにしえの心に触れる ・音読を楽しもう「いろは歌」 ・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から ・今に生きる言葉
6	・ダイコンは大きな根? ・ちょっと立ち止まって ・文法1 言葉の単位 書写 硬筆	7	7 価値を見出す ・「不便」の価値を見つめ直す ・文法2 文の組み立て 書写 書き初め
7	3 言葉に立ち止まる ・詩の世界 ・比喻で広がる言葉の世界 ・言葉1 指示する語句と接続する語句	8	8 自分を見つめる ・少年の日の思い出 ・文法3 単語の分類 ・随筆二編
9	4 心の動き ・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに ・言葉2 方言と共通語	9	・漢字3 漢字の成り立ち 随時 文法・「百人一首」
10	・漢字2 漢字の音訓	10	

◇ 評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身に付ける力。書写では文字を正しく整えて速く書く力	定期テスト・授業の取組・提出物(ノート・ワーク等)硬筆・書き初め
思考・判断・表現	①自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、話し合ったりする力、話し手の意図を考えながら聞く力 ②自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、相手や場面に応じ、構成を考えて的確に文章に書く力 ③目的や意図に応じて様々な文章を読み、内容や要旨を捉える力、また読書を通して見方や考え方を広げようとする力	①授業の発言・音読・スピーチ・話し合い活動・リスニング ②定期テスト・授業の課題(感想)・作文課題・詩などの創作 ③定期テスト・授業の取組・作品の内容理解
主体的に学習に取り組む態度	国語の学習に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする力	定期テスト・漢字スキル 古文暗唱・硬筆・書き初め

◇ 学習のアドバイス

毎時間の漢字ワークを真剣に取り組み、知識を増やしてください。授業では、自分の考えを恥ずかしながら発表したり、ノートに書いたりしてください。テストで点数を取るには、ワークや文法の問題集を繰り返し解くことです。また積極的に読書をして、言葉を増やしましょう。

[家庭学習の仕方]

- ・漢字ワークは予習・復習で勉強しやすいと思います。テストで毎回90点以上を狙ってください。
- ・教科書など知らない言葉の意味を調べてください。言葉の数は多い方が何事にもプラスになります。
- ・文法は復習を中心に行ってください。積み重ねの学習なので、何度やっても効果があります。

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	国語	学年	2	担当者	片山忍・小澤章治
----	----	----	---	-----	----------

◇ 国語科の目標

確かな言語能力の育成と一人一人の能力の伸長

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	・見えないだけ 1 広がる学びへ ・アイスプラネット	5	5 論理をとらえて ・モアイは語るー地球の未来
5	・枕草子 ・漢字1 熟語の構成	11	・月夜の浜辺 6 いにしへの心を訪ねる ・平家物語
6	2 多様な視点から ・クマゼミ増加の原因を探る		・扇の的ー「平家物語」から ・仁和寺にある法師ー「徒然草」から
7	・文法1 自立語 3 言葉と向き合う		・漢詩の風景 7 価値を語る
7	・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉の力	12	・君は「最後の晩餐」を知っているか ・文法2 用言の活用
9	・言葉1 類義語・対義語・多義語 4 関わりの中で	8	8 表現を見つめる ・走れメロス
9	・盆土産 ・字のない葉書	1	・文法3 付属語
10	・言葉2 敬語 ・漢字2 同じ音訓を持つ言葉	2	・言葉3 話し言葉と書き言葉
		3	・漢字3 送り仮名
			随時 文法・「百人一首」

◇ 評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身に付ける力。書写では文字を正しく整えて速く書く力	定期テスト・授業の取組・提出物(ノート・ワーク等) 硬筆・書き初め
思考・判断・表現	①自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、話し合ったりする力、話し手の意図を考えながら聞く力 ②自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、相手や場面に応じ、構成を考えた的確に文章に書く力 ③目的や意図に応じて様々な文章を読み、内容や要旨を捉える力、また読書を通して見方や考え方を広げようとする力	①授業の発言・音読・スピーチ・話し合い活動・リスニング ②定期テスト・授業の課題(感想)・作文課題・詩などの創作 ③定期テスト・授業の取組・作品の内容理解
主体的に学習に取り組む態度	国語の学習に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする力	定期テスト・漢字スキル古文暗唱・硬筆・書き初め

◇ 学習のアドバイス

毎時間の漢字ワークで基礎漢字を増やしてください。授業では、自分の考えを発表したり、ノートを整理したりして書いてみましょう。テストで点数を取るには、ワークや文法の問題集を繰り返し解くことです。また積極的に読書を進めていきましょう。

- ・漢字ワークを予習・復習に使ってください。テストで毎回90点以上を狙ってください。
- ・ワークはテスト前に提出しています。早めに一通り取組み、見直すことで力がついてきます。
- ・文法は復習を中心に行ってください。積み重ねの学習なので、何度やっても効果があります。

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	国語	学年	3	担当者	石田優紀・粕谷昌吾
----	----	----	---	-----	-----------

◇ 国語科の目標

確かな言語能力の育成と一人一人の能力の伸長

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	・世界は美しいと 1 深まる学びへ ・握手	10	・言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 ・漢字2 漢字の造語力
5	・学びて時にこれを習ふ——「論語」から ・漢字1 熟語の読み方 書写 硬筆 (行書作品の仕上げ)	5	自らの考えを ・人工知能との未来 書写 書きぞめ (行書作品を仕上げる)
6	2 視野を広げて ・作られた「物語」を超えて ・リオの伝説のスピーチ ・文法1 文法を生かす	11	6 いにしへの心を受け継ぐ ・和歌の心を受け継ぐ ・音読を楽しもう 初恋
7	情報社会を生きる 3 言葉とともに ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉1 和語・漢語・外来語	12	7 価値を生み出す ・誰かの代わりに ・文法2 文法のまとめ
9	4 状況を読む ・挨拶——原爆の写真によせて ・故郷	1	8 未来へ向かって ・温かいスープ
		2	・わたしを束ねないで
		3	随時 文法・「百人一首」

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法
知識・技能	表現と理解に役立つための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身に付ける力。書写では文字を正しく整えて速く書く力	定期テスト・授業の取組・提出物 (ノート・ワーク等) 硬筆・書き初め
思考・判断・表現	①自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、話し合ったりする力、話し手の意図を考えながら聞く力 ②自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、相手や場面に応じ、構成を考えた的確に文章に書く力 ③目的や意図に応じて様々な文章を読み、内容や要旨を捉える力、また読書を通して見方や考え方を広げようとする力	①授業の発言・音読・スピーチ・話し合い活動・リスニング ②定期テスト・授業の課題 (感想)・作文課題・詩などの創作 ③定期テスト・授業の取組・作品の内容理解
主体的に学習に取り組む態度	国語の学習に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする力	定期テスト・漢字スキル古文暗唱・硬筆・書き初め

◇ 学習のアドバイス

- ・毎時間の漢字練習帳を真剣に取り組み、知識を増やしましょう。授業では、自分の考えをまとめ、発表できるようにしましょう。黒板に書いたこと以外も適宜ノートに取るようにしましょう。テストで点数を取るには、ワークや文法の問題集を繰り返し解くことです。また積極的に読書をして、語彙を増やしましょう。
- ・漢字練習帳は自宅での予習・復習にも活用してください。
- ・文法に苦手意識を感じる人は、自宅学習でコツコツ復習をしましょう。